KENWOOD

RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

取扱説明書

MDX-G7

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

B60-4753-20 03 CH (J) CR 0007

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークのある製品は(株)ケンウッドにおいて消費電力、環境汚染物質の削減など環境に対する負担を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

ドルビーラボラトリーズの米国および海外特許に基づく許諾製品

デモンストレーションモードについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ)があります。各動作を示す表示部が順に変化していきますが、音は変化しません。
なお、本機の電源が入っている間に停電があったり、ACアダプターを抜き差ししたりしたときは、自動的にデモンストレーションモード("DEMO ON")になります。
デモンストレーションモードを解除する："DEMO ON"中にSET/Demoキーを押す。
デモンストレーションモードに設定する：電源が入っている間に、2秒以上SET/Demoキーを押す。

目次

この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
÷ お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
÷ 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

⚠ 警告

ACアダプターは交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器の AC アダプターは，交流 100 ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

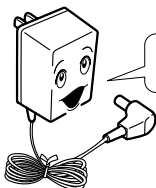
放熱に注意

本体および AC アダプターは次のような使い方をしないでください。

÷ あおむけや横倒し、逆さまにして使用する。
÷ 風通しの悪い、狭い所に押し込む。
÷ 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

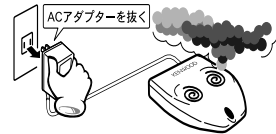
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

指定のACアダプターを使う

充電するときや電源を供給するときは，機器に付属，または指定の AC アダプターをお使いください。
指定以外の AC アダプターを使用すると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り，AC アダプターをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。煙や，異臭，異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

ACアダプターのプラグは清潔に

AC アダプターの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は，AC アダプターを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

ケースを絶対に開けないでください

ACアダプターや機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

ACアダプターや機器を落としたり，カバーやケースがこわれた場合は，電源スイッチを切り, ACアダプターをコンセントから抜き，電池を取り出して，点検，修理をご依頼ください。
そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線やACアダプターには触れないでください。
感電の原因となります。

屋外の場合は、使用を中止し、機器から離れてください。
落雷の原因となります。

電池は放置しない

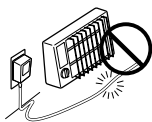
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

ACアダプターを熱器具に近付けない

ACアダプターを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

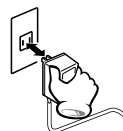
油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

ACアダプターの抜き差しは

ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

ACアダプターは，根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ACアダプターを抜くときは，コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき，火災，感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

ACアダプターはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また，ACアダプターの刃に触れると感電することがあります。

落下に注意

壁掛け使用時は落下にご注意ください。けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間，ご使用にならないときは，安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き，電池を取り出しておいてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し､やけどの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと､聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注意

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、サービススポットに費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

電池の取扱い

次のことを, 必ず守ってください。

÷ 指定以外の電池は使用しないでください。また, 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

÷ 電池は, 加熱したり, 分解したり, 火や水の中に入れないでください。

÷ 電池, 電池ケースは, 金属製のボールペン, ネックレス, コイン, ヘアーピンなどと一緒に携帯, 保管しないでください。

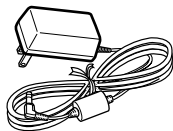
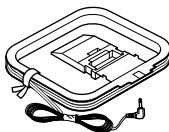
÷ 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。

÷ 長期間使用しないときや常時ACアダプターでご使用になるときは, 電池を取り出しておいてください。

誤った使い方をすると, ショートしたり, 破裂, 液漏れにより, 火災, けがや周囲を汚損する原因となることがあります。液がもれた場合は, 電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一, もれた液が身体についたときは, 水でよく洗い流してください。

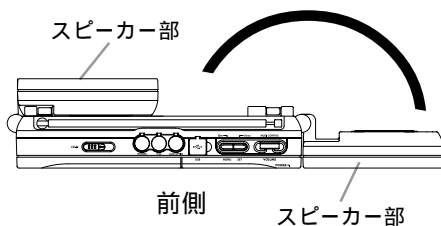
設置する

付属品を確かめる

ACアダプター
（1個）

AM ループ
アンテナ（1個）

クッション（2個）

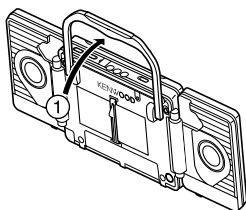
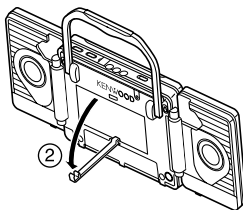
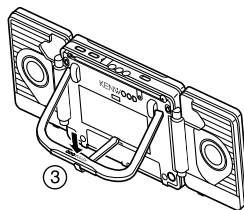
カード型リモコン
（1個・ボタン電池内蔵）

スピーカー部を開く

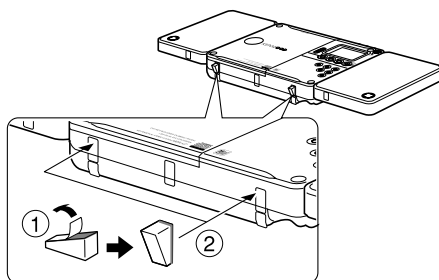
上から見た図

カチッとクリック感のあるところまで、矢印のようにスピーカー部を開きます。

÷ スピーカー部を折りたたむときは、図の矢印と反対方向へ静かにスピーカー部を閉じていきます。

スタンドで立てる

背面のハンドルを動かして、スタンドとして使います。

①ハンドルを矢印の方向におこします。

②ハンドルスタンドを手前に引き出し、倒します。

③ハンドルをハンドルスタンドのフックにかかるようにします。

より安定させてお使いになるには

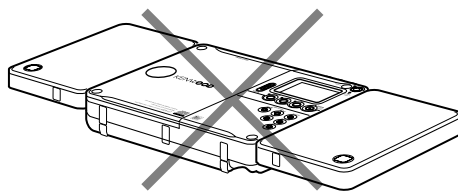
スタンドを立ててお使いのとき、付属のクッションを貼り付けることにより、より安定してお使いになれます。

①クッションに付いている両面テープのシールをはがします。

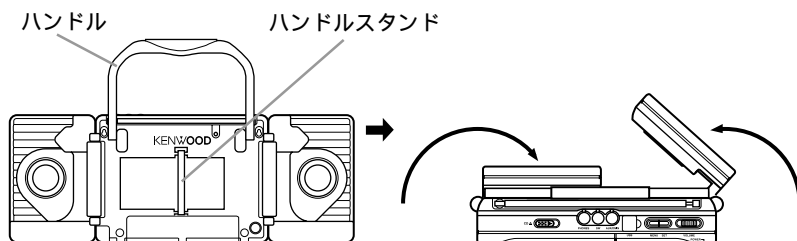
②クッションを本体に貼ります。

POINT

÷ スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、テレビやパソコンから少し離して置いてください。

÷ 本機を横に寝かせて使用しないでください。十分な放熱が行われず、故障の原因となることがあります。

÷ スピーカー部を折りたたむときは、接続したコード類を全て外してください。

本機を移動するとき

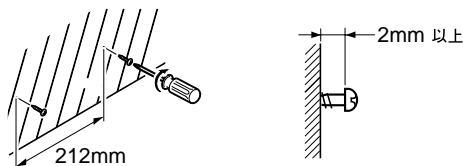
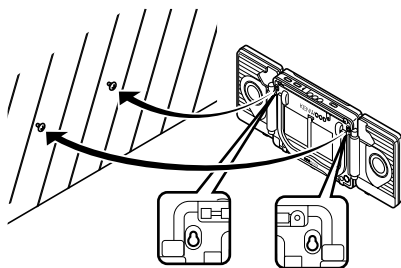
ハンドルスタンドを収納してからハンドルを上まであげ、スピーカー部を折りたたみます。

POINT

÷ 移動するときは、本機を振り回したりしないでください。

÷ 移動中は本機を使用しないでください。

本機を壁掛けで使う

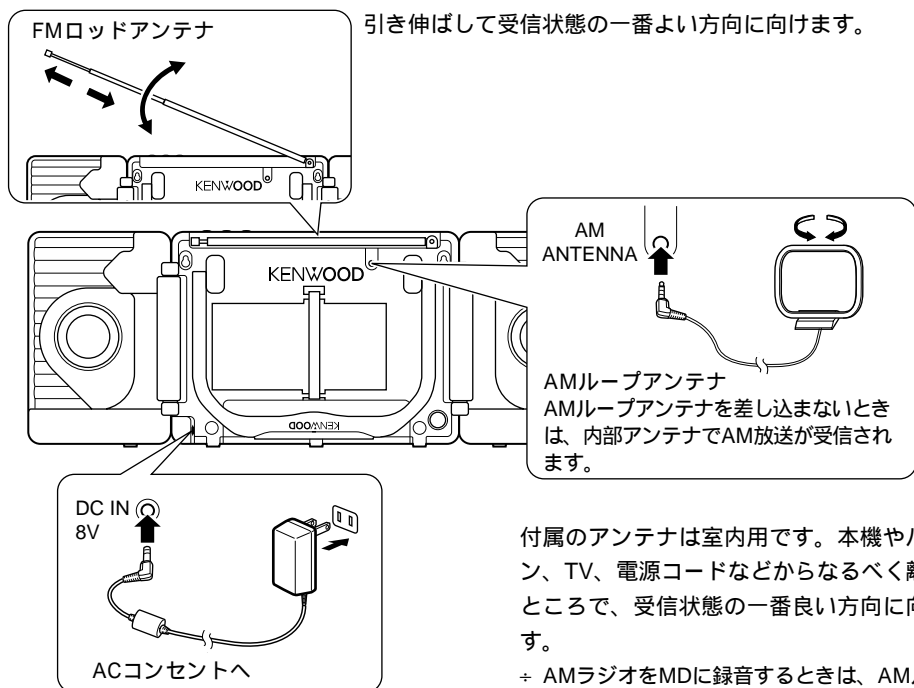
市販の木ネジ（φ3.0/15mmまたはφ3.1/16mm）を用意してください。

1　壁掛け用穴に合わせて木ネジを安定した柱や壁に取り付ける

2　本体背面の壁掛け用穴をネジにはめ込む

注意：ベニヤ板、石膏ボードなどには取り付けないでください。
落下したり、破損する恐れがあります。
また、背面からの放熱のため、壁の材質によっては変形または変色することがあります。

÷ 壁に掛けて使用するときは、背面のアンテナ端子にFM屋外アンテナを接続することはできません。

接続する

付属品を接続する

引き伸ばして受信状態の一番よい方向に向けます。

付属のACアダプターをAC100V、50/60Hzの電源コンセントへつなぎます。

÷ ACアダプターを抜くときは、壁側のプラグから先に抜いてください。

÷ ACアダプターと本体は離して使用してください。

付属のアンテナは室内用です。本機やパソコン、TV、電源コードなどからなるべく離れたところで、受信状態の一番良い方向に向けます。

÷ AMラジオをMDに録音するときは、AMループアンテナを接続してください。

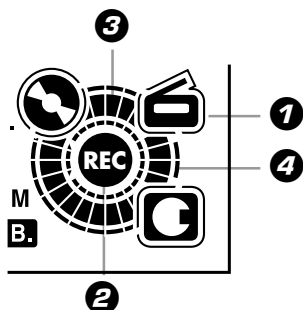
POINT

÷ すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなることや、雑音が発生することがあります。

÷ 接続コードを抜き差しするときは、必ずACアダプターを電源コンセントから抜いてください。

÷ ACアダプターを抜き差しするときは、必ずスタンバイ状態にしてください。

表示部の状態表示について

表示部の右下の表示部分はセレクター（ソース）の動作の状態を表示しています。

❶ CD、MD、TUNERの各表示（常時点灯）

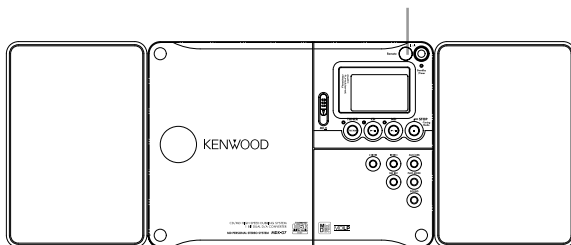
❷ 録音中を示す表示

❸ ボリューム表示およびPLAY（再生）状態とPAUSE（再生一時停止）状態の表示
PLAYの時は回転、PAUSEの時は点滅します。

❹ MDに録音中はセレクター（ソース）間を流れるように点灯
録音PAUSEのときは、点滅します。

リモコンの操作

リモコンの操作範囲の目安は、本体のリモコン受光部から約6m以内です。本体のリモコン受光部の正面に向けて操作してください。

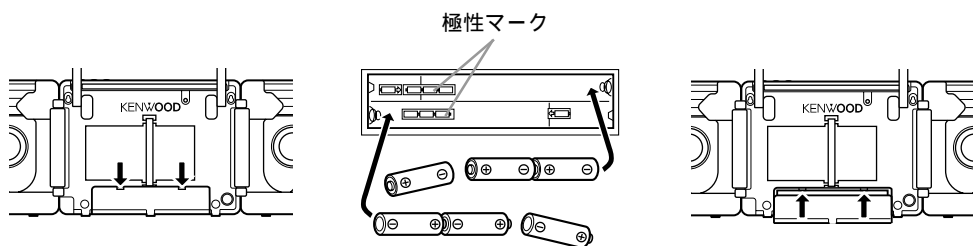
リモコン受光部

÷ リモコンに内蔵されているボタン電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。あらかじめご了承ください。
÷ リモコンで操作できる距離が短くなったら、新しいボタン電池と交換してください。（74ページ）
÷ リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
÷ リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。

次ページに続く➔

本体に乾電池(別売)を入れる

(1) 本体背面の乾電池ぶたをはずす。

(2) 単3アルカリ乾電池6個を極性マークに合わせて入れる。

(3) 乾電池ぶたを閉める。

> 乾電池で本機を使用するときは、必ず本体背面のDC IN 8Vコネクター側からACアダプターコードのプラグを抜いてください。

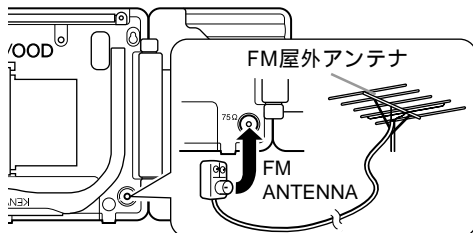
÷ 本機を乾電池で使用すると、表示部にバッテリーインジケーターが表示されます。
  ：乾電池の残量が十分にあります。
  ：乾電池が消耗しています。

÷ 乾電池が消耗すると、" LOW BATTERY " が表示され、しばらくすると電源が切れます。6本とも新しい乾電池に交換してください。

÷ 乾電池で本機を使用しているときは、リモコンのPOWER I/⏻ キーを押しても電源を入れることができません。またスタンバイ状態中は、Standby/Timerインジケーターは赤色に点灯しません。

÷ 乾電池で本機を使用しているときは、バックライトの設定は" OFF "になります。

÷ 長期間乾電池で本機を使用しないときや、常時ACアダプターで使用するときは、乾電池が液漏れすることがありますので、取り出しておいてください。

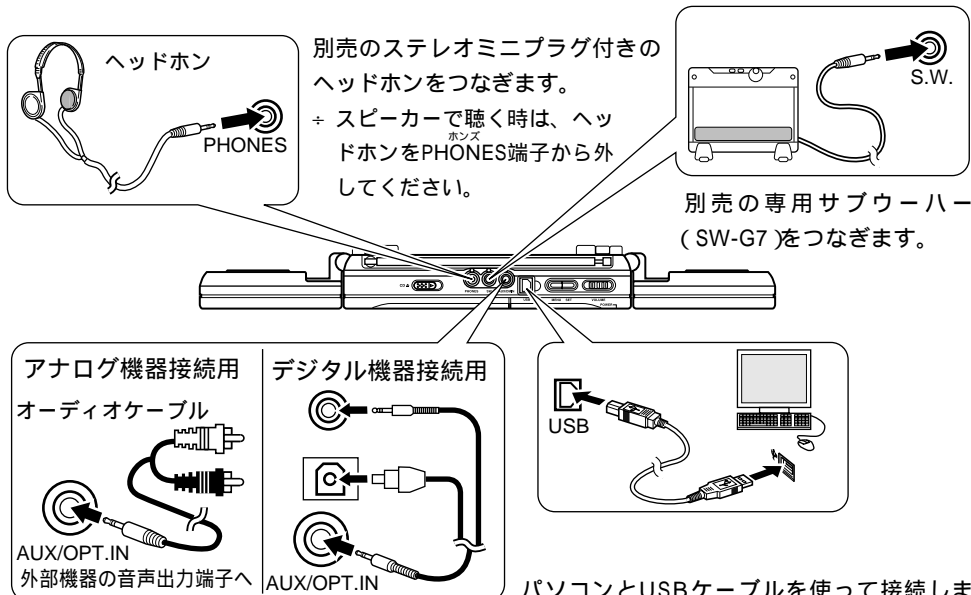
FM屋外アンテナを接続する

市販の75Ω同軸ケーブルを使用して屋内へ引き込み、FM ANTENNA端子に接続します。

÷ 屋外アンテナの設置は危険を伴いますので、販売店または専門の技術者にご依頼ください。

他の機器を接続する

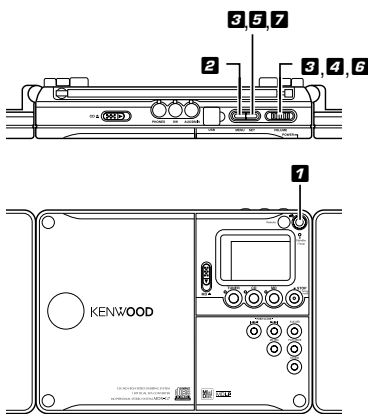
接続するときは、各端子のキャップを外してから接続してください。

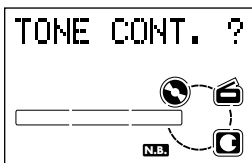
パソコンとUSBケーブルを使って接続します。パソコンからの音を聞くことができます。

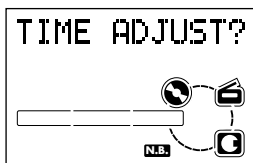
÷ 本機は、Windows98® SEのパソコンに対応しています。
÷ パソコンとつなぐときは、本機とパソコンの電源を入れてからつないでください。(プラグアンドプレイ)
÷ 初めてパソコンにつないだときは、最初にパソコン側で設定をしてください。(69ページ)

別売のMDプレーヤー、カセットデッキ、イコライザー内蔵のレコードプレーヤー(P-110)、CS/BSチューナーなどを市販のステレオミニプラグ付きのオーディオケーブルまたは、市販の光ケーブルを使って接続します。

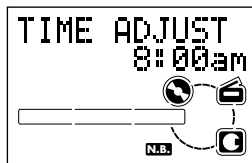
÷ AUX IN端子は入力端子です。外部機器への録音はできません。
÷ 外部の機器を接続する時は、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
÷ レコードプレーヤーを接続して、本機のすぐ横に置いた場合、音量を大きくした時などに"ワーン"というハウリング現象が起きる場合があります。この場合は、本機とレコードプレーヤーの間隔を離してお使いください。
÷ 外部機器の入力レベルは調整することができます(36ページ)。

時計を合わせる

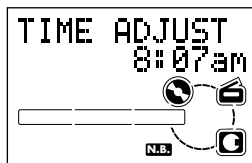
タイマー機能を利用できるように、本機の時計を合わせてください。時間は12時間表示で表示されます。

本体のみ

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"TIME ADJUST?"を選び、SET/Demoキーを押す

4 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"時"を合わせる

8時7分に合わせる例

昼の12時は"12:00pm"、夜の12時は"12:00am"と表示されます。

5 SET/Demoキーを押す

6 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、"分"を合わせる

7 SET/Demoキーを押す

÷ 時報と同時にSET/Demoキーを押すと、正確な時刻合わせができます。

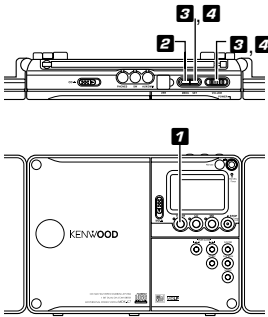
POINT

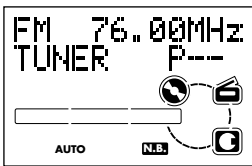
÷ 75分以上停電があったときや、ACアダプターをコンセントから抜いたり、乾電池を外して75分以上過ぎたときは、もう一度時刻合わせをしてください。

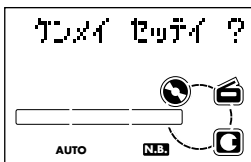
放送局を記憶させる

オートプリセット、マニュアルプリセット合わせて最大40局まで記憶させることができます。

放送局を自動的に記憶させる
（オートプリセット）

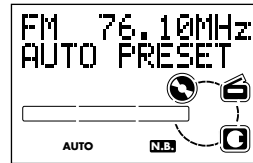
お住まいの都道府県名を選択して、近くで受信できる放送局を自動的にプリセット(記憶)することができます。プリセットされたFM放送を受信する時は、放送局名が表示されます。

本体のみ

1 TUNER（チューナー） FM/AMキーを押す

2 MENU（メニュー）キーを押す

3 VOLUME（ボリューム）/ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみを回して"ケンメイ　セッテイ　?"を選び、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押す

4 VOLUME（ボリューム）/ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみを回して、お住まいの都道府県名を選び、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押す

都道府県名は五十音順に並んでいます。

オートプリセットが始まると、表示部に"AUTO（オート） PRESET（プリセット）"が点滅します。

先にFM放送局をメモリーし、次にAM放送局をメモリーします。

オートプリセットが終了すると、最初にプリセットされた放送局名が表示されます。

放送局名の表示を変えるには

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。

希望する放送局名が表示されないときは、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押して放送局名を変えます。

POINT

÷ 表示される放送局名は「エリア別FM放送局名自動表示リスト」(20ページ)に記載されている局のみです。
÷ 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
÷ お住まいの地域によっては、選局された放送局を良好に受信できない場合があります。

オートプリセットで放送局が記憶されないときは、マニュアルプリセットで記憶させてください(21ページ)。

次ページに続く→

エリア別FM放送局名自動表示リスト（2000年7月現在）

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G’
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co-much FM BOY
	エフエム山形	FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J-WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ

地方	放送局	表示名
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP-FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E-Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss-FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V-air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	PassionWave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY-FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

放送局を手動で記憶させる

（マニュアルプリセット）

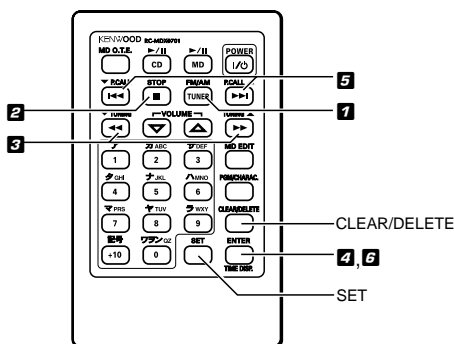
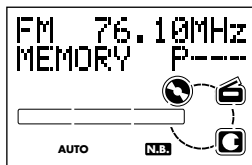
お好みの放送局だけを選んで、1局ずつ記憶（プリセット）できます。

リモコンのみ

1 TUNER（チューナー） FM/AMキーを繰り返し押して、"AM"または"FM"を選ぶ

2 ■STOP（ストップ）キーを繰り返し押して、"AUTO（オート）"を点灯させる

3 ◀◀TUNING（チューニング）∞ キーまたは▶▶TUNING（チューニング）▲キーを押して、記憶させたい放送局を受信する

4 受信中にENTER（エンター）キーを押す

5 |◀◀P.CALL（プリセットコール）∞ キーまたは▶▶|P.CALL（プリセットコール）▲キーを押して、プリセットナンバーを選ぶ

|◀◀キーまたは▶▶|キーを押したままにすると、プリセットナンバーをスキップします。
数字キーで選ぶこともできます。
例：　13局目：+10、3
　　　20局目：+10、+10、0

6 もう一度ENTER（エンター）キーを押す

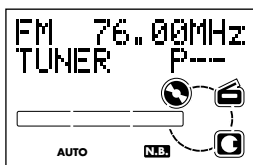
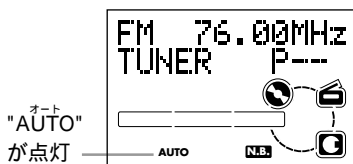
続けてプリセットするには
手順**1**〜**6**を繰り返します。

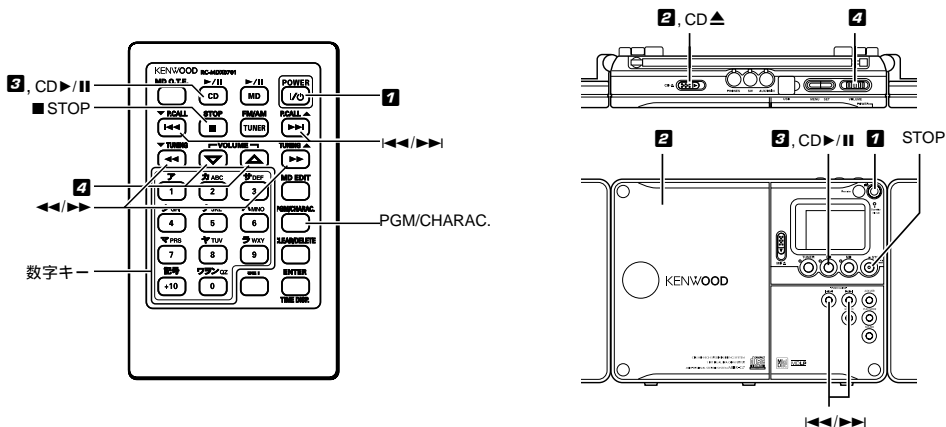
電波の弱いラジオ局をプリセットするには
手順**2**で■STOP（ストップ）キーを押して"AUTO（オート）"を消灯させ、マニュアル選局にします。

POINT

÷ 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

プリセットした放送局を消去するには

プリセット選局し、リモコンのCLEAR（クリア）/DELETE（デリート）キーを押すとプリセット番号とCLEAR（クリア）？が8秒間表示され、その間にSET（セット）キーを押すとプリセットした放送局を消去することができます。
消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は前に調整されます。
ただし、40局目は消去されません。

CDを聴く

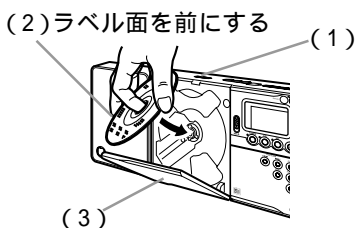
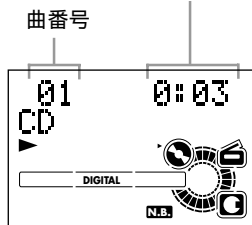
CDを再生してみましょう。

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 CDを入れる

(1) CD▲キーをスライドさせて、
CDドアを開ける。

(2) CDを入れる。

(3) CDドアを閉める。

3 CD ►/IIキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音量を調整する

または、リモコンのVOLUMEキーを押す

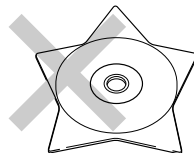
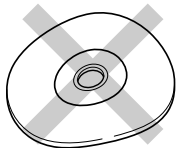
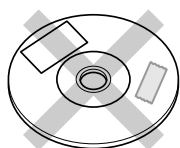
キーの操作

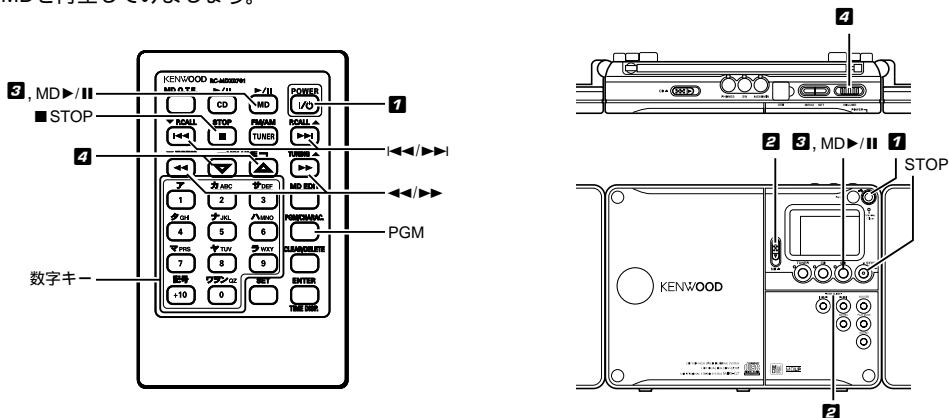
目的	操作
停止する	STOP(ストップ)キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押す。
一時停止する	CD ►/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶ時は、►►❙キーを押す。 前の曲を選ぶ時は、❙◄◄キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの►►キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◄◄キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 例:10曲目:+10、0　23曲目:+10、+10、3 "PGM(プログラム)"が点灯しているときは、リモコンのPGM(プログラム)キーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには
再生を止めてからCD▲キーをスライドさせて、CDドアを開けます。

POINT

- あらかじめCDを入れておくと、スタンバイ状態中にCD ►/❚❚キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります(ワンタッチオペレーション)。
- 本機では、CD-TEXT(テキスト)対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルが、アルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT(テキスト)対応のディスクでも表示できないものもあります。
- 再生できるCDについては、「本機で使用できるディスクについて」(73ページ)をご覧ください。

変形CD(星形、ハート形等)、ひび割れがある、大きく反ったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

MDを聴く

MDを再生してみましょう。

1 POWER(パワー) I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 MDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

（1） MD▲キーを下方向へスライドさせて、MDホルダーを開ける。
（2） MDを挿入口へ確実に差し込む。
（3） MDホルダーを閉める。

（2）ラベル面を手前にして、矢印の方向に入れる

3 MD ▶/IIキーを押す

再生中の曲の経過時間

4 VOLUME(ボリューム)/MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)つまみを回して、音量を調整する

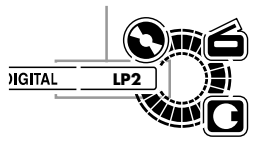
または、リモコンのVOLUME(ボリューム)キーを押す

キーの操作

目的	操作
停止する	STOP（ストップ）キー（リモコンの■STOP（ストップ）キー）を押す。
一時停止する	MD▶/❚❚キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶ時は、▶▶❙キーを押す。 前の曲を選ぶ時は、❙◀◀キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 例　10曲目：+10、0　23曲目：+10、+10、3 "PGM（プログラム）"が点灯しているときは、リモコンのPGM（プログラム）キーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには
再生を止めてから、MD⏏キーを下方向にスライドさせます。

MDの再生モード表示について
MDの曲は、録音したときのモードにしたがって再生されます。再生が始まると、再生モードが表示されます。停止中は"REC（レック） MODE（モード）"が表示されます。

消灯　：標準ステレオ録音した曲（*MDLPに対応していないMDレコーダーで録音した曲）を再生しているとき
MONO　：モノラル長時間録音した曲を再生しているとき
LP2　：ステレオ2倍長時間録音した曲を再生しているとき
LP4　：ステレオ4倍長時間録音した曲を再生しているとき

再生モード

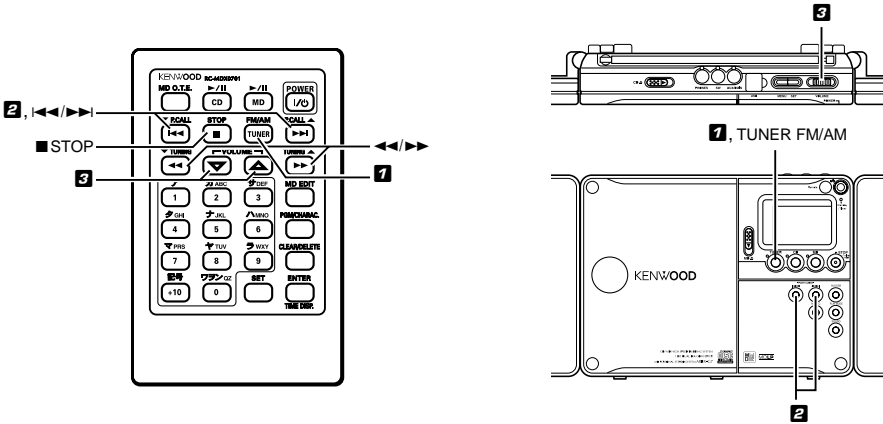
* MDLP は、MD 規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3 を採用して、ステレオ2倍（または4倍）長時間録音・再生モードの機能を持ったMD レコーダーやMDプレーヤー、またはATRAC3による音声録音されているMD メディア（再生専用MD）に表示されています。

POINT

÷ あらかじめMDを入れておくと、スタンバイ状態中にMD▶/❚❚キーを押すだけで電源が入り、再生が始まります（ワンタッチオペレーション）。
÷ MDにタイトルが記録されているときは、MDに記憶されているディスクのタイトルまたは曲のタイトルが表示されます。

ラジオを聴く

あらかじめ記憶(プリセット)させた放送局をワンタッチで選んで聴くことができます。
プリセットのしかたについては「放送局を記憶させる」(19～21ページ)をご覧ください。

1 TUNER(チューナー) FM/AMキーを押す

2 |◀◀P.CALL(プリセットコール)∞ キーまたは▶▶|P.CALL(プリセットコール)▲ キーを押して、放送局を選ぶ

押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

周波数の表示
FM 76.10MHz
放送局名の表示
InterFM
オート選局時に"AUTO(オート)"が点灯
AUTO STEREO
ステレオ受信時に"STEREO(ステレオ)"が点灯

3 VOLUME(ボリューム)/MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)つまみを回して、音量を調整する

または、リモコンのVOLUME(ボリューム)キーを押す

数字キーで放送局を選ぶには

聴きたいラジオ局のプリセット番号をリモコンの数字キーを使って入力します。

例　23局目：+10、+10、3　40局目：+10、+10、+10、+10、0

記憶させていない放送局を選ぶ

本体：

受信状態によって、オート選局とマニュアル選局に切り換え、放送局を選局することができます。

(1) Tuning Mode（STOP）キーを押して、選局モードを選ぶ。
"AUTO"点灯 ：受信の状態が良いときはオート選局モード（ステレオ受信）を選びます。
"AUTO TUNING"が数秒間表示されます。
"AUTO"消灯：雑音が入るときはマニュアル選局モード（モノラル受信）を選びます。
"MAN. TUNING"が数秒間表示されます。
÷ 通常は、"AUTO"（オート選局、ステレオ受信）にしておきます。

(2) "AUTO TUNING"または"MAN. TUNING"が表示されている間に、|◀◀キーまたは▶▶|キーを押して選局する。
オート選局：押すたびに次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局：希望する放送局を受信するまで押し続けます。

リモコン：

オート選局とマニュアル選局を切り換える

■STOPキーを押して、選局モードを選ぶ。
"AUTO"点灯 ：受信の状態が良いときはオート選局モード（ステレオ受信）を選びます。
"AUTO"消灯：雑音が入るときはマニュアル選局モード（モノラル受信）を選びます。
÷ 通常は、"AUTO"（オート選局、ステレオ受信）にしておきます。

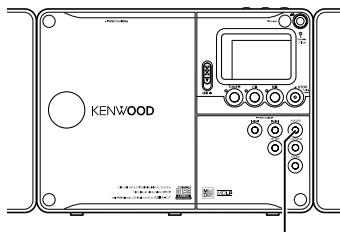
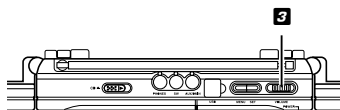
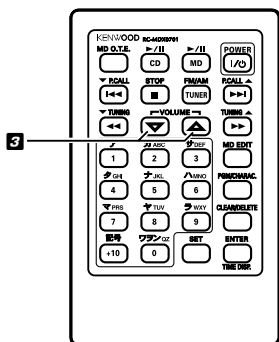
選局する

◀◀TUNING∞キーまたは▶▶TUNING▲キーを押して選局する。
オート選局：押すたびに次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局：希望する放送局を受信するまで押し続けます。

POINT

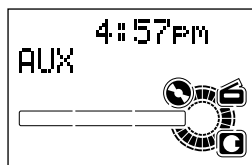
÷ スタンバイ状態中にTUNER FM/AMキー（リモコンのFM/AMキー）を押すだけで電源が入り、受信状態になります（ワンタッチオペレーション）。
÷ 選局時に|◀◀P.CALL∞キーまたは▶▶|P.CALL▲キーを押したままにすると放送局をスキップします。
÷ 選局モードが "AUTO" の時にステレオ放送を受信すると、"STEREO"表示が点灯します。

外部入力機器からの音を聴く

外部入力機器からの音を聴いてみましょう。

1 AUX/USBキーを押して、外部入力機器を選ぶ

押すたびに、外部入力機器が切り替わります。

→ AUX → DIGITAL AUX → USB ─┐（最初に戻る）

2 接続した機器を再生する

3 VOLUME（ボリューム）/MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみを回して、音量を調整する
または、リモコンのVOLUME（ボリューム）キーを押す

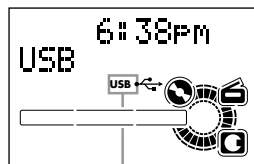
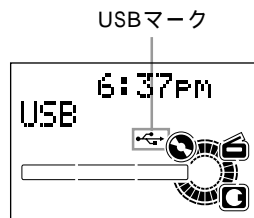
パソコンからの音を聴くとき

USB端子を使って初めてパソコンとつなぐときは、最初にパソコン側で設定をしてください。(69ページ)
すでにパソコン側で設定されているときは、下記の手順で操作してください。

(1) パソコンの電源を入れパソコンが起動してから、本機とUSBケーブルを使ってつなぐ。
パソコンが本機を検出します。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続するとUSBマークが表示されます。
- パソコンが本機を検出中は、USBケーブルを抜き差ししないでください。
- 数秒間待っても本機が検出されないときは、次のことを行ってください。
  - ・USBケーブルをもう一度接続し直す。
  - ・正しくインストールされているか確認する。(70ページ)
  - ・Windows®98 SEを再起動してみる。

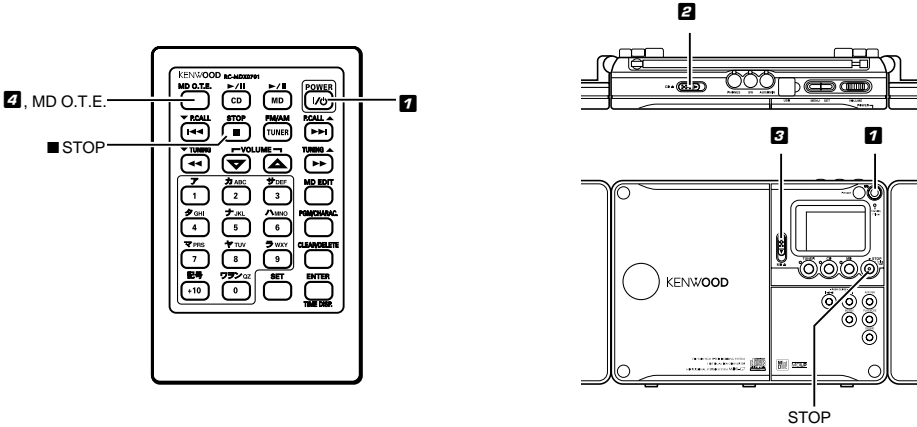
(2) AUX/USBキーを押してUSBを選ぶ。

(3) パソコン側で再生操作をする。
パソコンからの音声信号が入力されると" USB "が点灯します。
- パソコン側の操作は、パソコンの説明書及び音声を再生するソフトの説明書をご覧ください。

(4) 本機で音量の調整などの操作をする。

POINT

- DIGITAL AUX(デジタル)で外部入力機器の音を聴いているときにMDを出し入れすると、音が途切れます。
- 接続された外部機器からの入力レベルは調整することができます。(36ページ)
- 本機のUSB端子は、Windows®98 SEのパソコンに対応しています。
- USB端子を使ってパソコンとつなぐときは、本機とパソコンの電源が入っているときにつないでください。
- 本機のUSB端子は入力端子です。本機の音をパソコン側に記録させることはできません。
- 本機とパソコンが接続されていて、両方の電源が切れているときは、本機の方から電源を入れてください。

CDをMDに録音する(MD O.T.E.(ワンタッチエディット))

CDの全曲をワンタッチでMDに録音(全曲録音)できます。今聴いている曲をワンタッチで曲の始めから録音(1曲録音)することもできます。

1 POWER(パワー) I/⏻ キーを押して、電源を入れる

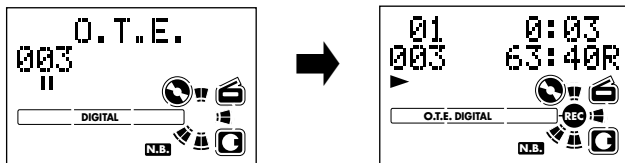
2 CDを入れる

22ページを参照してください。

3 録音可能なMDを入れる

24ページを参照してください。

4 リモコンのMD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す

CDの1曲目から録音が始まります。

今聴いているCDの曲を録音する（1曲録音）

（1）録音したいCDの曲を再生する。

（2）リモコンのMD O.T.E.（ワンタッチエディット）キーを押します。
　再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音を途中でとめるには

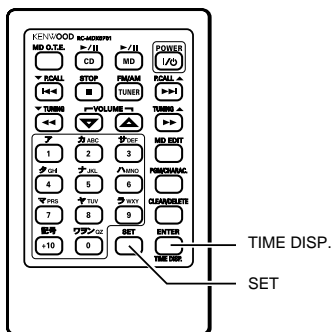
STOP（ストップ）キー（リモコンの■STOP（ストップ）キー）を押します。
再生、録音とも停止します。

POINT

÷ 録音中や"MD WRITING（ライティング）"表示中にMD⏏キーを下方向へスライドさせてMDホルダーを開けようとすると、"LOCKED（ロックド）"が表示されてMDホルダーを開けることはできません。
÷ "MD WRITING（ライティング）"表示中は、録音や編集した情報をMDに書き込んでいますので、振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）"が完了する前にACアダプターまたは乾電池を抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
÷ 録音可能なMDついては、「MDの取り扱いかた」（73ページ）をご覧ください。
÷ CDをMDに倍速で録音することもできます。（43ページ）
÷ REC（レック） MODE（モード）で設定した内容で録音されます。（40ページ）
÷ PLAY（プレイ） MODE（モード）がランダムのときは、MD O.T.E.（ワンタッチエディット）録音ができません。ランダムを解除してから操作してください。（38ページ）
÷ MD O.T.E.（ワンタッチエディット）録音のときは、デジタル録音になります。

表示について

CDやMDの時間表示や情報を見たり、表示部の明るさを調整することができます。

CDの表示を見る

リモコンのTIME DISP.（ENTER）キーを押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

1. 再生中の曲の経過時間

```
 03      0:10
CD
```

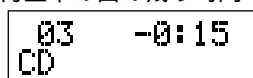
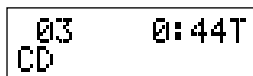
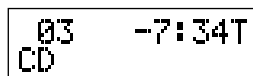
2. 再生中の曲の残り時間

```
 03    -0:15
CD
```

3. ディスク全体の経過時間

```
 03      0:44T
CD
```

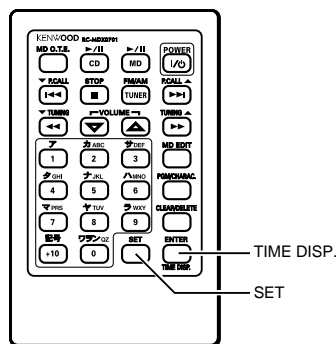
4. ディスク全体の残り時間

```
 03    -7:34T
CD
```

POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1と2のみ表示します。
- 表示時間の合計が100分以上になると、"- - : - - "と表示されます。

テキスト情報を見るには（CD-TEXT）

CD-TEXT対応のCDを再生すると、CDに収録されたテキスト情報（ディスクのタイトルまたは曲のタイトル）が自動的に表示されます。
テキスト情報が表示部に表示しきれないときは、リモコンのSETキーを押します。表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認することができます。

MDの表示を見る

リモコンのTIME DISP.（ENTER）キーを押すたびに、表示部の表示が切り換わります。

停止中

1. 1曲目の経過時間（0：00表示）

```
001     0:00
CORKSCREW/KU
```

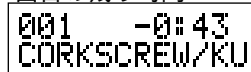
2. 1曲目の残り時間

```
001   -0:43
CORKSCREW/KU
```

3. トータル再生時間

```
001   -8:27T
CORKSCREW/KU
```

4. ディスク全体の空き時間

```
001   65:33R
CORKSCREW/KU
```

再生／一時停止中

1. 曲の経過時間

```
001     0:21
MASTURBATING
```

2. 曲の残り時間

```
003   -0:15
SPOON & CAFF
```

● 表示時間の合計が324分以上になると、"--:--"と表示されます。

CDを録音中

上の行がCDの表示、下の行がMDの表示になります。

1. CD再生中の曲の経過時間とMD録音可能時間

```
 01     0:02
015   65:30R
```

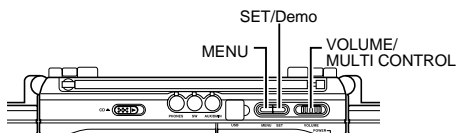
2. CD再生中の曲の残り時間とMD録音可能時間

```
 03    -0:07
017   64:39R
```

3. CD全体の経過時間とMD録音可能時間

```
 05     1:35T
019   63:55R
```

4. CD全体の残り時間とMD録音可能時間

```
 07    -5:48T
021   62:57R
```

CD以外のソースを録音中

リモコンのTIME DISP (ENTER)キーを押すたびに、録音可能時間と録音経過時間の表示が切り換わります。

ディスクのタイトルや曲のタイトルを見るには

MDにディスクのタイトルが記憶されているときは、停止中にディスクのタイトルが自動的に表示されます。曲のタイトルが記憶されているときは、再生中に曲のタイトルが自動的に表示されます。
タイトルが表示部に表示しきれないときはリモコンのSETキーを押します。
表示がスクロールされ、表示されていなかった部分を確認することができます。

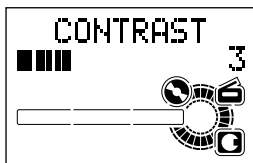
POINT

● タイトルが登録されていないときは、"NO TITLE"が表示されます。

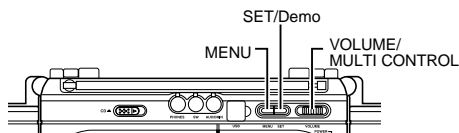
コントラストを調整する

本体のみ

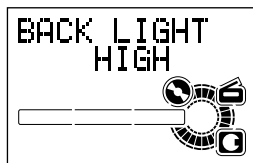
1 MENU（メニュー）キーを押す

2 VOLUME（ボリューム）/ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみを回して"CONTRAST（コントラスト） ?"を選び、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押す

3 VOLUME（ボリューム）/ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみを回して、好みのコントラストに調整し、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押す

0から6の範囲で調整できます。

バックライトを調整する

本体のみ

1 MENU（メニュー）キーを押す

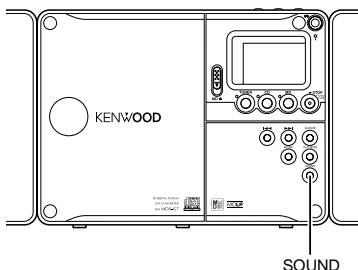
2 VOLUME（ボリューム）/ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみを回して"BACK（バック） LIGHT（ライト） ?"を選び、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押す

3 VOLUME（ボリューム）/ MULTI（マルチ） CONTROL（コントロール）つまみを回して、好みの明るさを選び、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押す

HIGH（ハイ）　：最も明るくなります。
LOW（ロー）　：明るさを押さえます。
OFF（オフ）　：表示部が暗くなります。

POINT

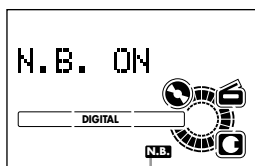
- おやすみタイマーを実行しているときはバックライトを調整することはできません。
- 乾電池で使用しているときは、明るさを"OFF（オフ）"に設定することをおすすめします。乾電池を長持ちさせることができます。

音質を調整する

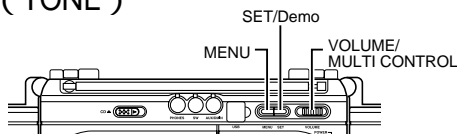
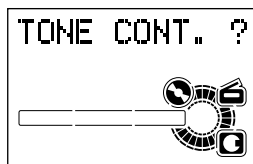
低音と高音を強調する（N.B. /LOUDNESS）

SOUNDキーを繰り返し押して、好みの音質を選ぶ

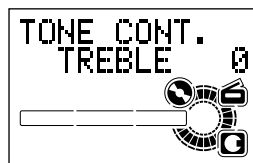
"N.B."： 音量にかかわらず低音域を強調します。"N.B. ON"がスクロール表示されます。

"LOUD"：音量に合わせて低高音域を強調します（小音量時に有効です）。"LOUD-NESS ON"がスクロール表示されます。

消灯： TONE機能で設定した音質になります。"TONE"がスクロール表示されます。

N.B.を選んだとき

例："N.B."

低音と高音を細かく調整する（TONE）

1 MENUキーを押す

2 低音を調整するときは、SET/Demoキーを1回押す
高音を調整するときは、SET/Demoキーを2回押す

高音の調節を選んだとき

3 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、好みの音質に調整する

－8から+8の範囲で調整できます。

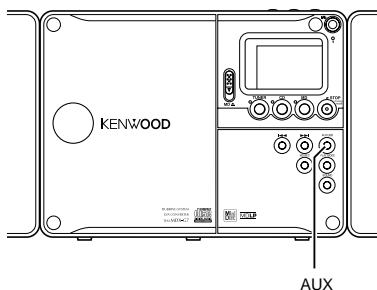
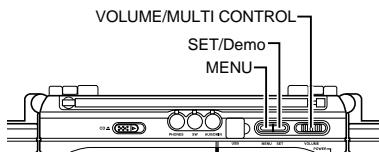
4 SET/Demoキーを押す

POINT

● "N.B."または"LOUD"が点灯中に音質を調整すると、"N.B."または"LOUD" は解除されます。
● "N.B."または"LOUD"、"TONE"効果の音は、録音には反映されません。

入力レベルを調整する

外部入力レベルを調整する

AUX IN入力端子やUSB入力端子接続された外部機器（MDプレーヤー、CS/BSチューナー、パソコンなど）からの入力レベルを調整します。CD, MDなどと同じくらいの大きさで聞こえるように調整してください。

本体のみ

例：AUXのとき

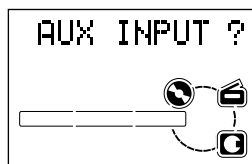
1 AUXキーを押して、"AUX"を選ぶ

- DIGITAL AUXのときは"DIGITAL AUX"を選びます。
- USBのときは、"USB"を選びます。

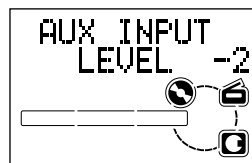
2 接続した機器を再生して、音量を確認する

3 MENUキーを押す

4 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"AUX INPUT ?"を選び、SET/Demoキーを押す

- DIGITAL AUXの時は、"D. AUX INPUT ?"を選びます。
- USBのときは、"USB INPUT？"を選びます。

5 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、入力レベルを微調整する

- AUXのときは、−4から+3の範囲で調整できます。
- DIGITAL AUXの時は、−6から+6の範囲で調整できます。
- USBのときは、−7から0の範囲で調整できます。

レベルを−2に調整したとき

6 SET/Demoキーを押す

CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(PGM)

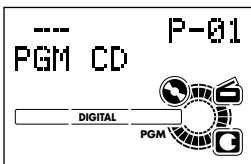
好きな曲を好きな順番に、最大32曲までプログラムして聴くことができます。
停止中に操作します。

リモコンのみ

1 CDの時: CD▶/IIキーを押す
MDの時:MD▶/IIキーを押す

2 ■STOPキーを押す

3 PGM/CHARAC.キーを押す

CDをプログラムするとき

4 聴きたい曲を選ぶ
数字キーを押す順序の例：
23曲目:+10、+10、3
40曲目:+10、+10、+10、+10、0

5 SETキーを押す
2曲以上選ぶときは、手順**4**, **5**を繰り返します。
間違えたときはCLEAR/DELETEキーを押して曲番号を消し、選び直します。

6 CDの時: CD▶/IIキーを押す
MDの時:MD▶/IIキーを押す

プログラム再生をやめるには
■STOPキー(本体のSTOPキー)を押します。

プログラムした曲を取り消すには
停止中にCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
一度に全部消すときは、停止中にPGM/CHARAC.キーを押します。

POINT

● "PROGRAM FULL"が表示されると、それ以上曲を選ぶことはできません。

CDやMDのプレイモードを変える(REPEAT/RANDOM)

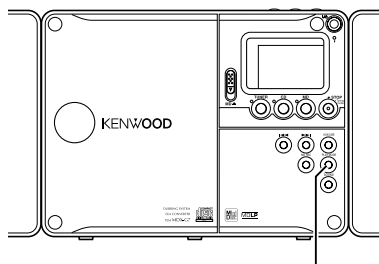
お気に入りの曲を繰り返し聴いたり、順不同に再生することができます。プログラム再生を繰り返して聴くこともできます。
再生中または停止中に操作できます。

本体のみ

PLAY MODEキーを繰り返し押して、プレイモードを選ぶ

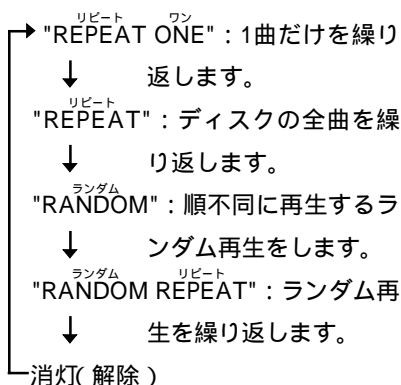
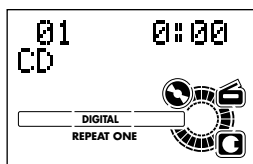
押すたびにプレイモード表示が次のように切り換わります。

→ "REPEAT ONE"：1曲だけを繰り返します。
↓
"REPEAT"：ディスクの全曲を繰り返します。
↓
"RANDOM"：順不同に再生するランダム再生をします。
↓
"RANDOM REPEAT"：ランダム再生を繰り返します。
↓
消灯(解除)

"REPEAT ONE"を選んだとき

通常の再生に戻すときは

PLAY MODEキーを繰り返し押して、プレイモード表示を消灯させます。

POINT

- "PGM"が点灯しているときは、"REPEAT"だけ選べます。
- ランダム再生は、全曲の再生が1回終わると停止します。
- 再生中に"RANDOM"または"RANDOM REPEAT"を選んだときは、再生中の次の曲からランダム再生が始まります。

ステレオ長時間録音について

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています。（MDLP対応機器です）
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があり、本機のMDで録音できる全ての音楽ソースに使用できます。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

録音モードの種類

ステレオ録音（STEREO）：録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ2倍長時間録音（LP2）：音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている2倍の時間になります。

ステレオ4倍長時間録音（LP4）：音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている4倍の時間になります。

モノラル長時間録音（MONO）：録音される音声はモノラルになりますが、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ（STAMP）機能

本機でステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲のタイトルの始めの部分に「LP：」を自動的につける機能です。
「LP：」は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、スタンプ（STAMP）機能のON（「LP：」をつける）またはOFF（「LP：」をつけない）の設定をすることができます。

POINT

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音（LP2）またはステレオ4倍長時間録音（LP4）で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。MDLPに対応していない機器で再生すると、無音状態で再生されます。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音（STEREO）で録音してください。

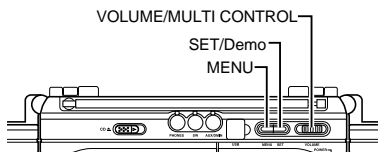
録音時の曲番号について

曲番号は再生中に曲の頭出しをするときや、プログラムをするときに使用します。

÷ ラジオ、AUXからの音を録音するときやCDをアナログ録音しているときは、下記のような場合に、曲番号が自動的につきます。
- 音のない部分が約3秒以上続いた後に次の音が入るとき（ただし、録音する音楽ソースのノイズなどにより、トラック番号がくり上がらない場合があります。）
- クラシック音楽などで小さい音が続いたとき
- 録音が一時停止中にもう一度 MD RECキーを押して録音を始めるとき
- 録音中にリモコンのMD EDITキーを押したとき

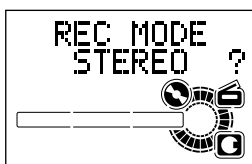
÷ CDをデジタル録音しているときやDIGITAL AUXからの音を録音するときは、下記のような場合に、曲番号が自動的につきます。
- 曲が切り替わるとき
- 録音が一時停止中にもう一度 MD RECキーを押して録音を始めるとき
- 録音中にリモコンのMD EDITキーを押したとき

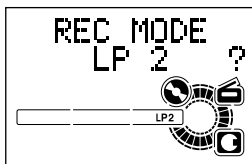
録音モードの設定

録音モードは、録音中以外のときなら、いつでも設定できます。

本体のみ

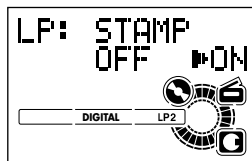
1 MENUキーを押す

2 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"REC MODE ?"を選び、SET/Demoキーを押す

現在設定されている録音モードが表示されます。

3 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して、録音モードを選ぶ

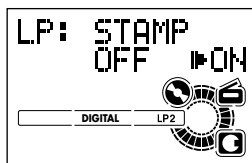
LP2を選んだとき

4 SET/Demoキーを押す

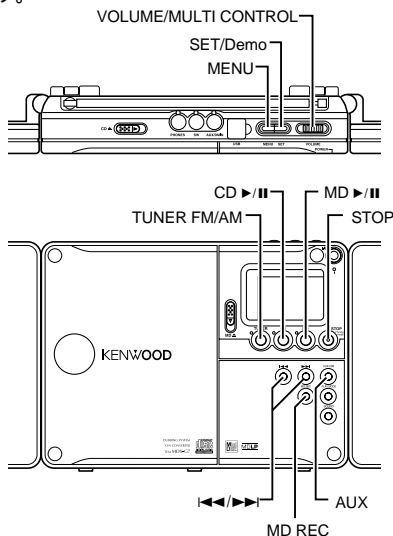
"STEREO"または"MONO"を選んだときは、録音モードを設定する前の表示に戻ります。

"LP2"または"LP4"を選んだときは、STAMPの設定をする画面が表示されます。手順**5**へ進みます。

5 VOLUME/ MULTI CONTROLつまみを回して"ON"または"OFF"を選び、SET/Demoキーを押す

曲タイトルの始めの部分に「LP：」を自動で入れるときは、"ON"を選びます。

曲タイトルの始めの部分に「LP：」を入れないときは、"OFF"を選びます。

「LP：」を入れるとき

MDに録音する

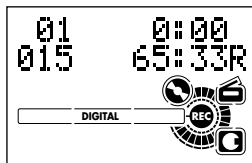
好みの音楽ソースをMDに録音することができます。あらかじめ設定された録音モードで録音されます。

本体のみ

1 録音可能なMDを入れる

2 録音する音楽ソースを選ぶ

CD：CD ▶/⏸キーを押す。
ラジオ：TUNER FM/AMキーを押す。
外部入力：AUXキーを押して録音する音楽ソースを選ぶ。
ただし、USBの音は録音できません。
すでにCDが入っているときは、再生が始まりますので、STOPキー（リモコンの■STOPキー）を押して停止させます。

3 MD RECキーを押す

録音一時停止状態になります。

4 録音する音楽ソースの準備ができたら、もう一度MD RECキーを押す

5 録音する音楽ソースを再生する

録音をやめるには

STOPキー（リモコンの■STOPキー）を押します。

録音を一時停止するには

録音中にMD ▶/⏸キーを押します。
この状態から再び録音を始めるときは、MD ▶/⏸キーまたはMD RECキーを押します。

メッセージが表示されて録音できないときは「メッセージ表示の一覧」（79ページ）をご覧ください。

CDを録音するときのポイント

（シンクロ録音機能）

CDを録音する時は、MDを録音一時停止状態にしておくと、CDの再生とMDの録音を同時に始めることができます。

（1）CDを再生一時停止状態にする。
（2）録音したい曲を⏮キーまたは⏭キーで選ぶ。
選んだ曲の始めで、再生一時停止状態になります。
（3）MD RECキーを押して、録音一時停止状態にする。
（4）CDの再生を始める。
シンクロ録音が開始します。

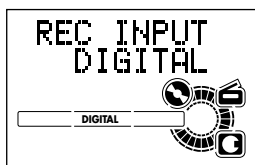
次ページに続く➜

CDのデジタル録音とアナログ録音（デジタル録音機能）

CDを録音するときは、デジタル信号のまま録音する「デジタル録音」とアナログ信号に置き換えて録音する「アナログ録音」があります。
初期値は、"DIGITAL"に設定されています。
録音操作をする前に設定します。

（1）CD ►/❚❚キーを押してから、STOPキー（リモコンの■STOPキー）を押す。

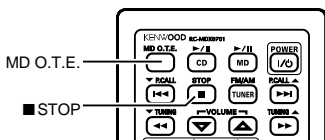
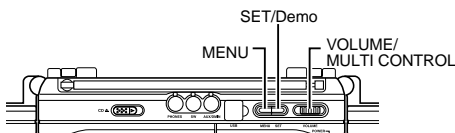
（2）MENUキーを押す。

（3）VOLUME/MULTI CONTROLツマミを回して"REC INPUT？"を選び、SET/Demoキーを押す。

（4）VOLUME/MULTI CONTROLツマミを回して"DIGITAL"または"ANALOG"を選び、SET/Demoキーを押す。

POINT

- MDの録音中や"MD WRITING"表示中は、MDホルダーがロックされているので、ACアダプターは抜かないでください。
- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- AMラジオをMDに録音するときはAMループアンテナを接続してください。
AMループアンテナを接続していないときは、AMラジオをMDに録音することができません。
- ラジオや"AUX"の音をMDに録音するときは、アナログ録音になります。
"DIGITAL AUX "の音を録音しているときは、デジタル録音になります。
- CDをMDに録音するときは、MD O.T.E.録音を使うと便利です（30ページ）。

CDの全曲をMDに倍速で録音する

CDの全曲を通常の半分の時間で録音することができます。
全曲倍速録音のときは、デジタル録音になります。
プレイモード及プログラムモードは解除してから操作してください。

1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3（30ページ）をご覧ください。

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"O.T.E. SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"High speed"を選び、SET/Demoキーを押す

- 通常の速度で録音するときは、"Normal speed "を選んでください。

5 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

CDが最初から再生され、倍速でMDに録音されます。
全ての曲を録音し終わるとCDとMDは自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

STOPキー（リモコンの■STOPキー）を押します。
録音、再生ともに停止します。

今聴いているCDの曲を倍速録音する（1曲倍速録音）

（1）手順1～4の操作をする。
（2）録音したい曲を再生し、リモコンのMD O.T.E.キーを押す。
再生中の曲の最初に戻ってから、倍速録音が始まります。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- 録音するCDによっては、いったん倍速録音"High speed"へ録音を始めてしまうと、録音を始めてから74分以内に同じCDを倍速録音することができないディスクもあります。このようなディスクの場合、再録音できるまでの時間が表示されます。
続けて同じCDを録音したいときは、O.T.E. SETの設定を"Normal speed"にしてからMD O.T.E.録音をしてください（30ページ）。

PLEASE WAITE
74min.

再録音できるまでの時間

- 倍速録音"High speed"では、CDの状態によって、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、「ディスクの取り扱いかた」（72ページ）にしたがってCDをクリーニングしたあと、通常速度"Normal speed"で録音し直してください。

CDの曲順を並べ替えてMDに録音する

通常速度"Normal speed"のときに、CDの曲順を並べ替えて録音できます。
倍速録音"High speed"のときはできません。

リモコンのみ

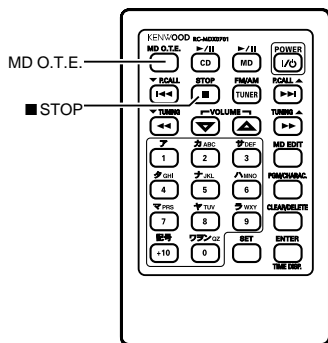
1 録音の準備をする

「CDをMDに録音する」の手順1～3（30ページ）をご覧ください。
MDは必ず停止状態にしてください。

2 CDの曲順をプログラムする

「CDやMDの曲を並べ替えて聴く」の手順1～5（37ページ）をご覧ください。

3 MD O.T.E.キーを押す

CDがプログラムした曲順で再生され、録音が始まります。
録音が終わると、CDとMDは自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

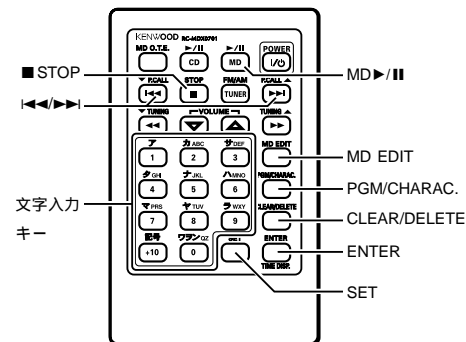
STOPキー（リモコンの■STOPキー）を押します。
録音、再生ともに停止します。

÷ "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

MDのタイトルを編集する

MD編集するとき(45ページ～58ページ)は、プログラム及びランダムモード、リピートモードを解除してから操作してください。

ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける

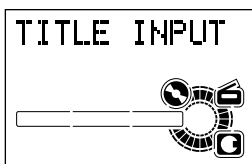
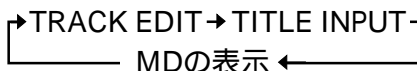
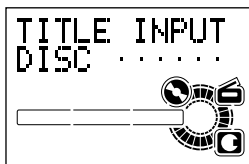
ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけておくと、再生のときに表示されます。
聴きたい曲をタイトルで探すときに便利です。

リモコンのみ

1 入力切替をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/❚❚キーを押してから、■STOP(ストップ)キーを押します。

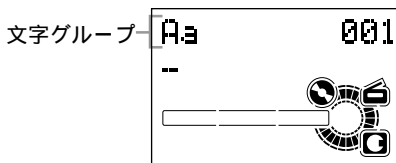
2 MD EDIT(エディット)キーを押して、"TITLE(タイトル) INPUT(インプット)"を選ぶ

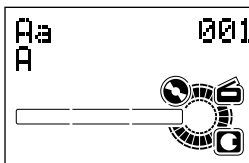
キーを押すたびに次のように切り換わります。

→TRACK EDIT→TITLE INPUT→MDの表示→(TRACK EDITへ戻る)

3 SET(セット)キーを押す

4 ◀◀または▶▶キーを繰り返し押して、"DISC(ディスク)"またはタイトルをつけたい曲番("001"…)を選ぶ

5 SET(セット)キーを押す

6 PGM/CHARAC.(プログラム/キャラクター)キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ

"Aa"：　アルファベットと記号
"12"：　数字と記号
"アァ"：カタカナと記号

7 文字入力キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ

入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」(50ページ)をご覧ください。
CLEAR/DELETE(クリアー/デリート)キーを押すと、点滅中の文字を消去することができます。
スペース(空白)を入れるときは、▶▶キーを押して、文字の入る場所を1文字分ずらします。

次ページに続く→

8 SETキーを押して、選んだ文字を確定する

手順6〜8を繰り返して、好みのタイトルを入力します。
CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルの前の文字を消去することができます。

9 タイトルを入力し終わったら、ENTERキーを押す

タイトルがMDに記録され、入力したタイトルがスクロールして表示されます。
つづけて曲のタイトルをつけるときは、手順4〜9を繰り返します。

10 MD EDITキーを2回押す

11 SETキーを押す

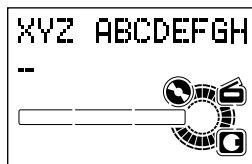
12 ENTERキーを押す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには
手順8までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す
MD⏏キーを下方向にスライドします。

⏮キーまたは⏭キーで文字を入力する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順1〜5(45ページ)を行う。
(2) ⏮キーまたは⏭キーを押す。

(3) PGM/CHARAC.キーを押して文字グループを選ぶ。
英文の大文字グループ：ABC…
英文の小文字グループ：abc…
数字・記号グループ：　012…
カタカナグループ：　　アイウ…
入力できる文字については、「タイトル編集文字一覧表」(50ページ)をご覧ください。
(4) ⏮キーまたは⏭キーを押して文字を選ぶ。
(5) SETキーを押して、選んだ文字を確定する。
CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルの前の文字を消去することができます。
(6) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順9〜12(46ページ)を行う。

タイトルを変更する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順❶〜❺(45ページ)を行う。

(2) ◀◀キーまたは▶▶キーを押して変更したい文字を選ぶ。

(3) CLEAR（クリアー）/DELETE（デリート）キーを押して変更したい文字を消す。

(4) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順❻〜⓬（45、46ページ）を行う。

タイトルを消去する

(1) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順❶〜❺(45ページ)を行う。

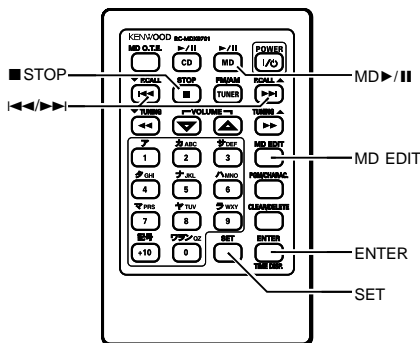
(2) CLEAR（クリアー）/DELETE（デリート）キーを押す。
文字を消していきます。

(3) 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順❾〜⓬（46ページ）を行う。

POINT

● "MD WRITING（ライティング）"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
● 変更したい文字が表示されないときは、◀◀キーまたは▶▶キーを押すと、カーソルが動き、隠れていた文字が表示されます。
● 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字("LP："も含む)まで入力することができます。

タイトルを登録する（タイトルメモ）

よく使うタイトルをタイトルメモに登録して、いつでも呼び出すことができます。
タイトルメモは3つまで登録できます。

リモコンのみ

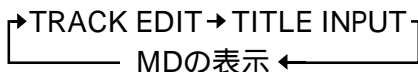
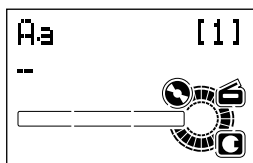
1 入力切替をMDにして、録音可能なMDを入れる

MD ▶/IIキーを押してから、■STOP（ストップ）キーを押します。

2 MD EDIT（エディット）キーを押して、"TITLE（タイトル） INPUT（インプット）"を選ぶ

キーを押すたびに次のように切り換

→TRACK EDIT → TITLE INPUT → MDの表示 →

3 SET（セット）キーを押す

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"［1］"〜"［3］"のいずれかを選び、SET（セット）キーを押す

5 文字を入力する

「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順6〜8（45, 46ページ）を行います。

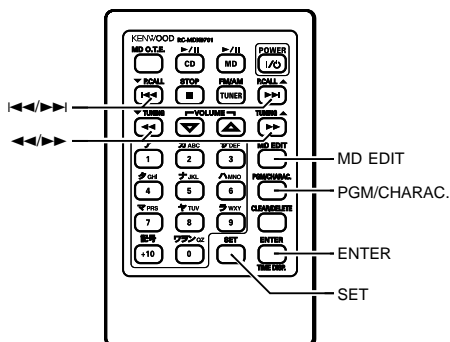
6 ENTER（エンター）キーを押す

MDにタイトルが記録され、タイトルがスクロールして表示されます。
続けてタイトルを登録するときは、手順4〜6を繰り返します。

7 MD EDIT（エディット）キーを押す

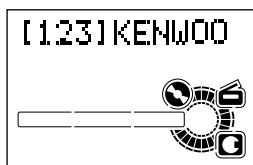
途中でやめるには
手順5までにMD EDIT（エディット）キーを押します。

タイトルをコピーする

すでに入力済のディスクのタイトルや曲のタイトル、48ページで登録したタイトルメモを呼び出し、コピーして使うことができます。

リモコンのみ

1 「ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける」の手順 **1** ～ **5** (45ページ)を行う

2 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押す

3 PGM(プログラム)/CHARAC(キャラクター).キーを繰り返し押して、"[123]"を表示させる

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、コピーしたいタイトルを選ぶ

"[123]"： タイトルメモ1、2、3のいずれかに登録してあるタイトル(48ページ)
"[DISC]"： ディスクのタイトル
"[001]"…： 曲のタイトル

5 SET(セット)キーを押す

タイトルがコピーされます。
続けて文字を入力するときは、PGM/CHARAC.キーを押します。

6 ENTER(エンター)キーを押す

タイトルがMDに記録され、タイトルがスクロールして表示されます。

7 MD EDIT(エディット)キーを2回押す

8 SET(セット)を押す

9 ENTER(エンター)を押す

"MD WRITING(ライティング)"表示します。

途中でやめるには
手順 **5** までにMD EDIT(エディット)キーを押します。

POINT

÷ "MD WRITING(ライティング)"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット小文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの文字入力キーで文字を選ぶとき

キー＼グループ	"Aa"	"12"	"アァ"
1ア	スペース[1][2][3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXY	WXYwxy	9	ラリルレロ
0ワヲンQZ	QZqz	0	゛ ゜ ワヲン
+10記号	’, : ? ! ; . ”_ ` $ & () ― / + ＊ = 〈〉# % @スペース		

POINT

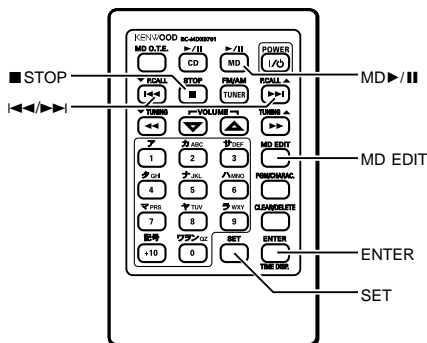
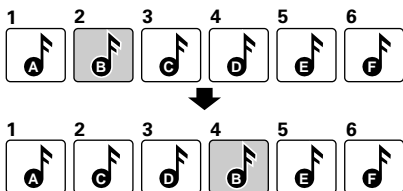
- 「゛ 」「゜ 」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- タイトルコピーは文字入力キーでは選ぶことができません。

リモコンの|◀◀キーまたは▶▶|キーで文字を選ぶとき

英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZスペース
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyzスペース
数字・記号グループ	0123456789スペース ！ ”#$ % & ’()＊+ , ― . / : ; 〈 = 〉` ? @スペース _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン ―ァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ ―
タイトルメモ／タイトルコピーグループ	[1 2 3][DISC]([001]…)

曲を1曲ずつ移動する

移動させたい曲を選んで、目的の曲番号の位置へ移動(挿入)します。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。前後の曲の曲番号は、自動的に調節されます。

曲を1曲移動するイメージ

リモコンのみ

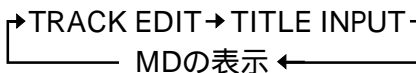
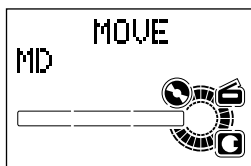
1 入力切替をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/IIキーを押してから、■STOP(ストップ)キーを押します。

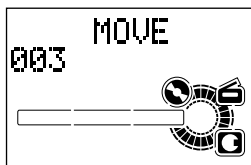
2 MD EDIT(エディット)キーを押して、"TRACK(トラック) EDIT(エディット)"を選ぶ

キーを押すたびに次のように切り換わります。

→TRACK EDIT→TITLE INPUT→MDの表示→(TRACK EDITに戻る)

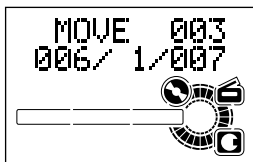
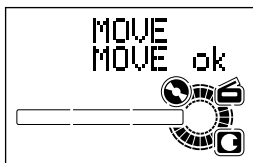
3 SET(セット)キーを押す

4 もう一度SET(セット)キーを押す

5 ⏮または⏭キーを繰り返し押して、移動したい曲番号を選ぶ

3曲目を移動するとき

6 SET(セット)キーを押す

次ページに続く➔

7 ⏮キーまたは⏭キーを押して、選択した曲の移動先を選ぶ

6曲目の後に移動するとき

8 SET（セット）キーを押す

9 ENTER（エンター）キーを押す

10 MD EDIT（エディット）キーを押す

11 SET（セット）キーを押す

12 ENTER（エンター）キーを押す

"MD WRITING（ライティング）"表示します。

途中でやめるには

手順**8**までにMD EDIT（エディット）キーを押します。

MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。
手順**9**の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"MD WRITING（ライティング）"が表示された後MDホルダーが開くようになります。

POINT

÷ "MD WRITING（ライティング）"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

曲をつなぐ

隣り合った曲と曲をつなぐことができます。
曲番号は自動的に調節されます。

曲をつなぐイメージ

リモコンのみ

1 入力切替をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/II キーを押してから、■STOP（ストップ）キーを押します。

2 MD EDIT（エディット）キーを押して"TRACK（トラック） EDIT（エディット）"を選び、SET（セット）キーを押す

キーを押すたびに次のように切り換わります。

→TRACK EDIT → TITLE INPUT → MDの表示 →

3 I◀◀または▶▶Iキーを繰り返し押して、"COMBINE（コンバイン）"を選び、SET（セット）キーを押す

4 I◀◀キーまたは▶▶Iキーを繰り返し押して、つないだときに後ろになる曲を選ぶ

5 SET（セット）キーを押す

6 ENTER（エンター）キーを押す

7 MD EDIT（エディット）キーを押す

8 SET（セット）キーを押す

9 ENTER（エンター）キーを押す

"MD WRITING（ライティング）"表示します。

途中でやめるには

手順**5**までにMD EDIT（エディット）キーを押します。

MDを取り出す

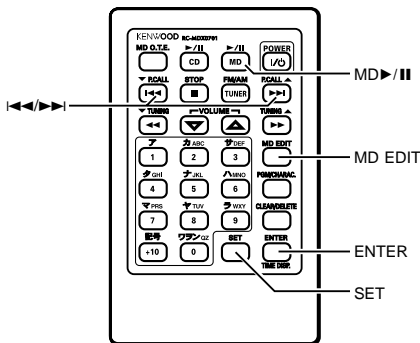
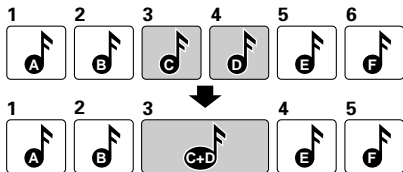
MD▲キーを下方向にスライドします。
手順**6**の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"MD WRITING（ライティング）"が表示された後MDホルダーが開くようになります。

POINT

÷ "MD WRITING（ライティング）"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
÷ 録音モードが異なる曲、短い曲をつなげることはできません。

再生中の曲をつなぐ

再生中の曲とその前の曲をつなぐことができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をつなぐイメージ

リモコンのみ

1 録音済みのMDを入れる

2 MD ▶/⏸ キーを押してから⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、つないだときに後ろになる曲を選ぶ

曲が再生されます。

3 MD EDITキーを押して"TRACK EDIT"を選んでから、SETキーを押す

再生が一時停止します。

4 ⏮キーまたは⏭キーを繰り返し押して、"CONBINE"を選ぶ

5 SETキーを押す

6 ENTERキーを押す

7 MD EDITキーを押す

8 SETキーを押す

9 ENTERキーを押す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順**5**までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。

手順**6**の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"MD WRITING"が表示された後MDホルダーが開くようになります。

POINT

- "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- 録音モードが異なる曲、短い曲をつなげることはできません。

曲を分ける

曲を分割することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲を分けるイメージ

リモコンのみ

1 録音済みのMDを入れる

2 MD ▶/II キーを押してから|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、分割したい曲を選ぶ

曲が再生されます。

3 分割したいポイントでMD EDIT(エディット)キーを押してからSET(セット)キーを押す

再生が一時停止します。

4 SET(セット)キーを押す

5 もう、一度SET(セット)キーを押す

6 ENTER(エンター)キーを押す

7 MD EDIT(エディット)キーを押す

8 SET(セット)キーを押す

9 ENTER(エンター)キーを押す

"MD WRITING(ライティング)"表示します。

途中でやめるには

手順**5**までにMD EDIT(エディット)キーを押します。

MDを取り出す

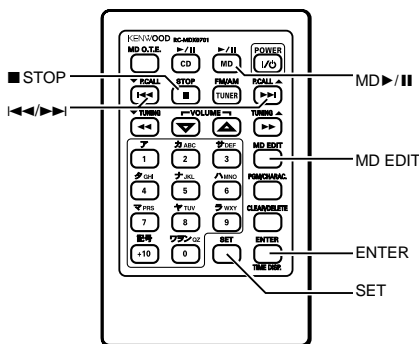
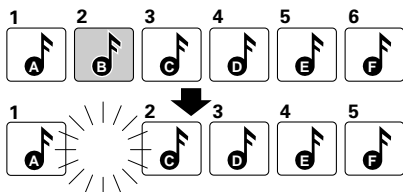
MD▲キーを下方向にスライドします。

手順**6**の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"MD WRITING(ライティング)"が表示された後MDホルダーが開くようになります。

POINT

- "MD WRITING(ライティング)"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。
- 分割によってできた曲間には、無音部分がありません。

1曲を消す

1曲のみを消します。曲番号は自動的に調節されます。

1曲を消すイメージ

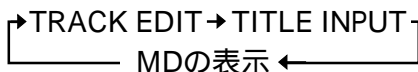
リモコンのみ

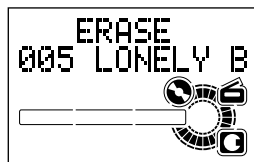
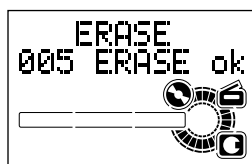
1 入力切替をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/IIキーを押してから、■STOPキーを押します。

2 MD EDITキーを押して"TRACK EDIT"を選び、SETキーを押す

キーを押すたびに次のように切り換わります。

→TRACK EDIT→TITLE INPUT→MDの表示→

3 |◀◀または▶▶|キーを繰り返し押して、"ERASE"を選び、SETキーを押す

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、消したい曲を選ぶ

5 SETキーを押す

6 ENTERキーを押す

7 MD EDITキーを押す

8 SETキーを押す

9 ENTERキーを押す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順**5**までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD▲キーを下方向にスライドします。
手順**6**の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"MD WRITING"が表示された後MDホルダーが開くようになります。

POINT

÷ "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

再生中の曲を消す

再生中の曲を消すことができます。曲番号は自動的に調節されます。

1曲を消すイメージ

リモコンのみ

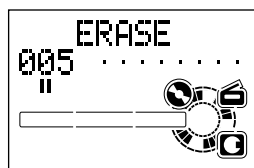
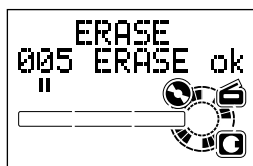
1 録音済みのMDを入れる

2 MD ▶/II キーを押してから|◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、消したい曲を選ぶ

曲が再生されます。

3 MD EDITキーを押して"TRACK EDIT"を選んでから、SETキーを押す

再生が一時停止します。

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、"ERASE"を選んでから、SETキーを押す

5 SETキーを押す

6 ENTERキーを押す

7 MD EDITキーを押す

8 SETキーを押す

9 ENTERキーを押す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには
手順5までにMD EDITキーを押します。

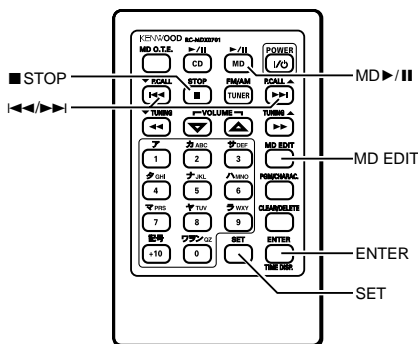
MDを取り出す
MD▲キーを下方向にスライドします。
手順6の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"MD WRITING"が表示された後MDホルダーが開くようになります。

÷ "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

全曲を消す

全曲を消してブランクディスクにします。

全曲を消すイメージ

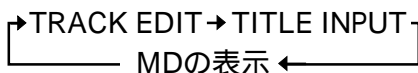
ブランクディスク

リモコンのみ

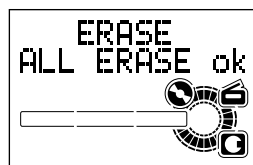
1 入力切替をMDにして、録音済みのMDを入れる

MD ▶/IIキーを押してから、■STOPキーを押します。

2 MD EDITキーを押して"TRACK EDIT"を選び、SETキーを押す

キーを押すたびに"次のように切り換わります。

→TRACK EDIT→TITLE INPUT→MDの表示→

3 |◀◀または▶▶|キーを繰り返し押して、"ERASE"を選び、SETキーを押す

4 "ALL ERASE?"と表示されたら、SETキーを押す

5 ENTERキーを押す

6 MD EDITキーを押す

7 SETキーを押す

8 ENTERキーを押す

"MD WRITING"表示します。

途中でやめるには

手順4までにMD EDITキーを押します。

MDを取り出す

MD⏏キーを下方向にスライドします。

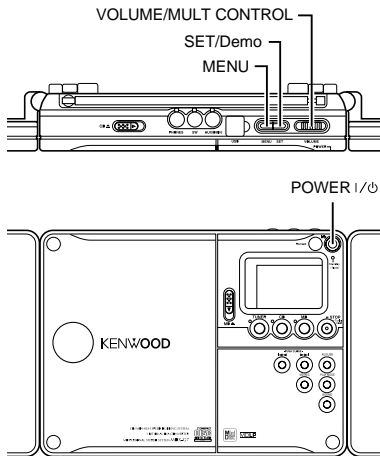
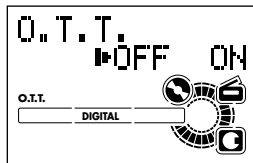
手順5の後にMDを取り出すこともできますが、その場合"MD WRITING"が表示された後MDホルダーが開くようになります。

POINT

÷ "MD WRITING"表示中には電源を切ったり、振動を加えないでください。

目覚ましタイマーを使う

(O.T.T.)

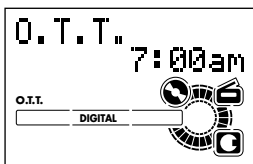
開始時刻を合わせるだけの操作で、タイマー再生ができます。タイマー再生開始から1時間たつと、電源は自動的に切れます。目覚ましタイマーは、設定した後の1回だけ働きます。

1 入力切換を聴きたい音楽ソースに合わせ、必要な準備をする

2 VOLUME/MULTI CONTROL(ボリューム/マルチ コントロール)つまみを回して、音量を調節する

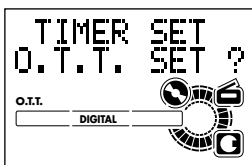
3 MENU(メニュー)キーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROL(ボリューム/マルチ コントロール)つまみを回して、"TIMER SET(タイマー セット) ?"を選び、SET(セット)/Demo(デモ)キーを押す

5 もう一度SET(セット)/Demo(デモ)キーを押す

6 VOLUME/MULTI CONTROL(ボリューム/マルチ コントロール)つまみを回して"ON(オン)"を選んでから、SET(セット)/Demo(デモ)キーを押す

7 VOLUME/MULTI CONTROL(ボリューム/マルチ コントロール)つまみを回して、タイマーが入る時刻(オン時刻)を選ぶ

オン時刻は5分単位で設定することができます。

オン時刻の表示

次ページに続く➜

8 SET/Demoキーを押す

9 POWER I/⏻ キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

Standby/Timerインジケーターが緑色に点灯します。
目覚ましタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

目覚ましタイマーを解除するには

(1) 「目覚ましタイマーを使う」の手順3～5(59ページ)を行う。
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

同じ内容で目覚ましタイマーを再実行するには

(1) 「目覚ましタイマーを使う」の手順3～5(59ページ)を行う。
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ON"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

設定内容を確認したり、変更するには手順1からやり直します。

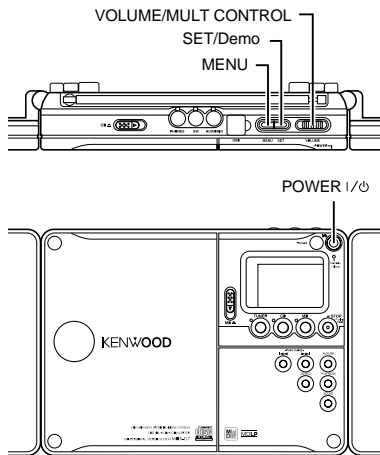
POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください(18ページ)。
- Standby/Timerインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーが正しく働かなかった、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。
- 目覚ましタイマーでは、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- 目覚ましタイマー(O.T.T.)とプログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)がともに設定された場合、プログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)は目覚ましタイマー(O.T.T.)の動作が終了するまで働きません。
- おやすみタイマー(SLEEP)が動作中は、目覚ましタイマー(O.T.T.)とプログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)は働きません。

プログラムタイマーを使う（PROG 1、PROG 2）

働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じてオンまたはオフに切り換えることができます。このタイマーは設定した後毎日働きます。

プログラムタイマーで再生する

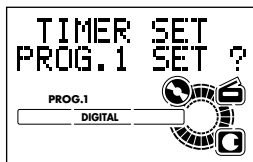
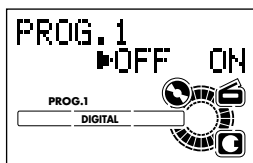
設定した時刻に選んだ音楽ソースを聴くことができます。

1 聴きたい音楽ソースに合わせて、必要な準備をする

CD： CDを入れる。
MD：MDを入れる。
ラジオ：オートプリセットしておく。
外部入力： AUX端子に接続した機器のタイマーを設定する。

2 MENUキーを押す

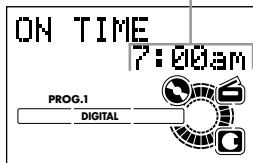
3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TIMER SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"PROG. 1 SET?"または"PROG. 2 SET?"を選ぶ

"PROG. 1 SET?"を選んだとき

5 SET/Demoキーを押す

6 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ON"を選んでから、SET/Demoキーを押す

7 タイマーが入る時刻（オン時刻）を選ぶ

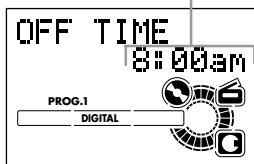
VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して「時」を選び、SET/Demoキーを押します。

同様の操作で「分」を選びます。

次ページに続く➔

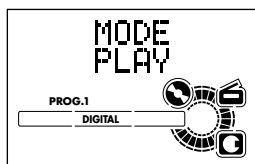
8 タイマーが切れる時刻(オフ時刻)を選ぶ

オン時刻と同様に設定します。

タイマーが切れる時刻

OFF TIME
8:00am
PROG.1
DIGITAL

9 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"PLAY"または"AI PLAY"を選び、SET/Demoキーを押す

"PLAY"：スタンバイ状態にする前に調整した音量で再生されます。

"AI PLAY"：タイマー再生が始まると、除々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。

10 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音楽ソースを選び、SET/Demoキーを押す

"CD"、"MD"、"AUX"(外部入力)、"DIGITAL AUX"(外部入力)、"TUNER"(ラジオ)の中から選ぶことができます。

11 ラジオを聴く時は、VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して聴きたいプリセットナンバーを選び、SET/Demoキーを押す

"TUNER"(ラジオ)以外を選んだときは、この操作は必要ありません。

12 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、音量を調節する

調節した音量で再生されます。

"AI PLAY"を選んだときは、この操作は必要ありません。

13 POWER I/⏻ キーを押して電源を切り、スタンバイ状態にする

タイマーの設定をして、スタンバイ状態になると、Standby/Timerインジケーターが緑色に点灯します。

プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

(1) 「プログラムタイマーで再生する」の手順❷～❺(61ページ)を行う。
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

同じ内容でプログラムタイマーを再実行するには

(1)「プログラムタイマーで再生する」の手順❷～❺(61ページ)を行う。
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ON"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

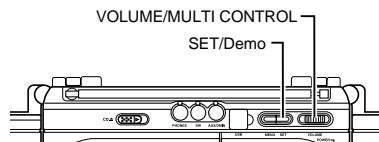
設定内容を確認したり変更するには

手順❷からやり直します。

POINT

÷ タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください(18ページ)。
÷ タイマー再生では、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
÷ PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
÷ 目覚ましタイマー(O.T.T.)とプログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)がともに設定された場合、プログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)は目覚ましタイマー(O.T.T.)の動作が終了するまで働きません。
÷ おやすみタイマー(SLEEP)が動作中は、目覚ましタイマー(O.T.T.)とプログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)は働きません。
÷ タイマーを解除しても、設定内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。
÷ Standby/Timerインジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーが正しく働かなかった、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。

プログラムタイマーで録音する

設定した時刻にTUNER(ラジオ)またはAUX(外部入力)の音をMDに録音することができます。

1 録音の準備をする

録音可能なMDを入れます。

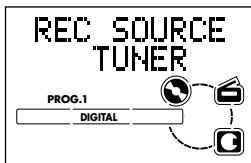
2 「プログラムタイマーで再生する」の手順❷～❽(61ページ～62ページ)を行う

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"REC"を選び、SET/Demoキーを押す

応用編 タイマー

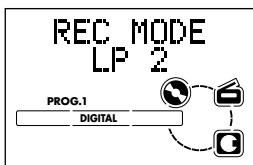
4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TUNER"または"AUX"または"DIGITAL AUX"を選び、SET/Demoキーを押す

"TUNER"：ラジオ
"AUX"：外部入力
"DIGITAL AUX"：外部入力

"TUNER"を選んだとき

5 ラジオを録音する時は、VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、録音したいプリセットナンバーを選び、SET/Demoキーを押す

"AUX"または"DIGITAL AUX"を選んだときは、この操作は必要ありません。

6 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、録音モードを選び、SET/Demoキーを押す

"LP 2"を選んだとき

7 POWER I/⏻ キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

タイマーの設定をしてスタンバイ状態になると、Standby/Timerインジケーターが緑色に点灯します。
プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に録音を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

(1) 「プログラムタイマーで再生する」の手順**2**～**5**(61ページ)を行う。
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

同じ内容でプログラムタイマーを再実行するには

(1) 「プログラムタイマーで再生する」の手順**2**～**5**(61ページ)を行う。
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して"ON"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

設定内容を確認したり変更するには
手順**2**からやり直します。

POINT

÷ タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください（18ページ）。

÷ PROG.(プログラム) 1とPROG.(プログラム) 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。

÷ タイマー録音のときは、スピーカーから音は出ません。

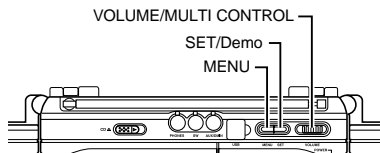
÷ AMラジオをMDに録音しようとしたときに"MD REC(レック) X"が表示された場合には、AMループアンテナを接続してください。
AMループアンテナを接続していないと、録音することができません。

÷ タイマーを解除しても、設定内容は記憶されています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーの内容はそのまま残っています。

÷ Standby(スタンバイ)/Timer(タイマー)インジケーターが緑色に点滅しているときは、タイマーが正しく働かなかった、または時刻合わせがされていません。設定し直してください。

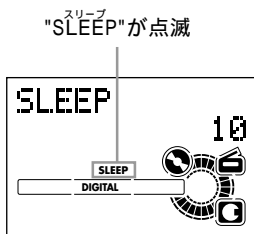
おやすみタイマーを使う

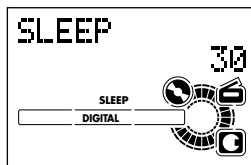
（SLEEP）

設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。10分単位で最長90分まで設定できます。

1 MENUキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"TIMER SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"SLEEP SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

"SLEEP"が点滅

4 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、何分後に電源を切るかを選び、SET/Demoキーを押す

30分後を選んだとき

セットした時間が過ぎると、自動的に本機の電源が切れます。

電源が切れるまでの時間を確認する
おやすみタイマー実行中に手順**1**～**3**の操作をします。

おやすみタイマーを解除する

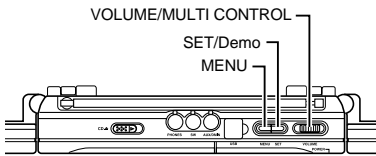
(1) 「おやすみタイマーを使う」の手順**1**～**3**を行う。

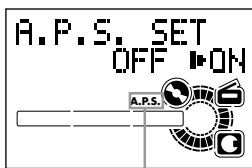
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを繰り返し回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

POINT

- おやすみタイマー(SLEEP)が動作中は、目覚ましタイマー(O.T.T.)とプログラムタイマー(PROG.1、PROG.2)は働きません。
- おやすみタイマー実行中はバックライトが"HIGH"に設定されていると、"LOW"の明るさになります。

自動的に電源を切る
(A.P.S. = AUTO POWER SAVE)

CDやMDが停止状態のときや、入力切換が"TUNER"または外部入力に設定されていて音量が"0"のときに、30分以上放置すると自動的に電源が切れるように設定することができます。電源の切り忘れを防止するために便利です。

1 MENUキーを押す

2 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"A.P.S. SET ?"を選び、SET/Demoキーを押す

3 VOLUME/MULTI CONTROLつまみを回して、"ON"を選ぶ

"A.P.S."が点灯

4 SET/Demoキーを押す

A.P.S.を解除する

(1) 「自動的に電源を切る」の手順**1**と**2**を行う。

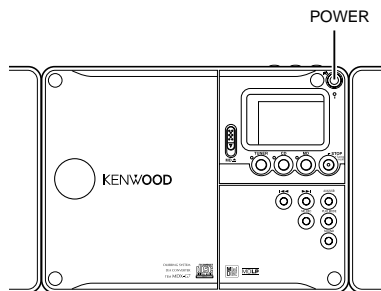
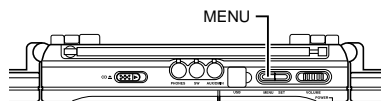
(2) VOLUME/MULTI CONTROLつまみを繰り返し回して"OFF"を選んでから、SET/Demoキーを押す。

キーをロックする

乾電池を入れて本機を移動するときに、誤ってキーが押されて乾電池が消耗しないように操作防止のロックをすることができます。
乾電池で使用しているときに操作します。

1 POWER（パワー） I/⏻ キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

2 鍵マークが表示されるまで2秒以上MENU（メニュー）キーを押す

- 鍵マークが表示されているときは、本体のどのキーを押しても操作できません。

キーロックを解除するには

鍵マークが消えるまで2秒以上MENU（メニュー）キーを押します。または、ACアダプターを差し込みます。
キーロックが解除されます。

÷ キーロック中は、タイマーが設定されていても、働きません。

USB端子からの音を聴く前の準備

USB端子を使って初めて本機とパソコンを接続したときだけドライバのインストールが必要です。ドライバのインストールはパソコンを操作して行います。

接続するパソコンの条件

USB端子を持ち、Pentium® MMX 200 MHz以上でWindows®98 SEがインストールされていて正常に動作するパソコンを推奨。
USB規格Ver.1.0に準拠。

本機の動作環境

サンプリング周波数は､48kHz､44.1kHz､32kHzに対応しています。
また､16bitステレオ及びモノラルデータが受信可能です。

ドライバをインストールする前に

Windows®98 SE日本語版が、正しく起動できることを確認してください。
本機に対応するソフトウェアドライバはWindows®98 SEに標準添付されていますので、Windows®98 SEのCD‐ROMが必要になる場合があります。あらかじめWindows®98 SEのCD‐ROMを用意しておいてください。
また、CD‐ROMドライブも使用できることを確認してください。（Windows®98 SEプリインストールモデルでは、ハードディスクの中に用意されていることもあります）
インストールする前に、パソコンのBIOS設定の次の項目を確認してください。

- USB 機能が｢使用する｣に設定されている。
- USB IRQ が｢AUTO ｣または使用可能なIRQ 番号に設定されている。
  上記の設定が正しく行われていないと､本機が正しく認識されず､動作しないことがあります。

POINT

- パソコン本体、マザーボードによっては上記の設定項目がないものもあります。設定項目の有無や設定方法については、パソコン本体またはマザーボードの取扱説明書をご覧ください。

ドライバーのインストール

1 パソコンの電源を入れWindows®98 SEを起動する

2 本機の電源を入れ､USBケーブルを使ってパソコンと接続する（17ページ参照）

自動的に本機が検出されます。
パソコンが本機を検出中は、USBケーブルを抜き差ししないでください。
数秒間待っても本機が検出されないときは、USBケーブルをもう一度接続し直します。それでも検出されないときは、Windows®98 SEを再起動します。

3 画面の指示にしたがってインストールする

USB互換デバイス、またはUSBオーディオデバイスと表示されます。

[次へ] をクリックしていきます。
[次へ] がクリックできないときやパソコンの画面に指示が出ているときは、その指示にしたがった操作をしてください。

必要条件を満たすパソコンでも、パソコン固有の仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機が正常に動作しなかったり、正しい音質で再生されない場合があります。

正しくインストールできているか確認する

「USB オーディオデバイス」、「USB 互換デバイス」がインストールされていることを確認します。

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［システム］→［デバイスマネージャ］を開く

パソコンによっては、BIOS設定にて、USBを有効にする必要があります。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 各項目の「＋」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」項目の中に「USB オーディオデバイス」があること、「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」項目の中に「USB 互換デバイス」があることを確認してください。

POINT

- インストールした3種類のUSB デバイスは、本機の電源が入っていてUSB ケーブルで接続しているときだけ「デバイスマネージャ」に現れます。本機を接続していないときは、「デバイスマネージャ」には現れないのでご注意ください。

パソコンからの音声信号が再生されるか確認する

1 本機の音量を適当な音量に合わせる

2 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［サウンド］を開く

3 「Windows の起動」を選んでから、再生ボタンをクリックする

本機から「Windows の起動」音が聞こえてくれば、ドライバのインストールは終了です。

「Windows の起動」音が聞こえてこないときは、次のことを確認してみてください。

- ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［マルチメディア］を開き、「優先するデバイス」が「USBオーディオ デバイス」になっているか確認します。
  「USB オーディオ デバイス」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USBオーディオ デバイス」を選びます。

参考：他のサウンドカードから音を出すときもここを変更します。

- ［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］を開き、音量が最小になっていたり、「ミュート」にクリックマークがついていないかを確認します。
  音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート」にクリックマークが付いているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずします。

使用中に問題があるときは、次のことを確認してみてください。

本機が認識されない：

- USB ケーブルで本機とパソコンをしっかり接続します。
- USBハブを使って接続しているときは、ハブが正しく動作しているか確認してください。または接続するポートを変えてみてください。

音が出ないまたは小さい：

- ボリュームコントロールの設定が違っていないか、優先するデバイス、ミュートを確認してください。

音が途切れる：

- 音声出力中、CPU に負担のかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPU に負担のかかる作業は控えてください。
- 音声出力中に他のUSB ケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、他の機器のUSBケーブルを抜き差ししないでください。

雑音が多い：

- 本機が強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに置かれていると雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。

知識編

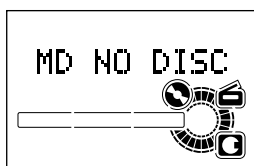
使用上のご注意

結露についてのご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

移動時の注意点

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

(1) CD、MDを取り出します。
(2) MD▶/❚❚キーを押す。
(3) しばらく待って、表示部が図のようになることを確かめてください。

(4) CD▶/❚❚キーを押す。
(5) しばらく待って、表示部が図のようになることを確かめてください。

(6) 数秒間待って、電源を切ります。

お手入れのしかた

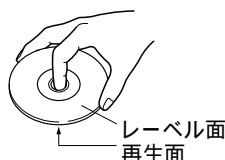
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

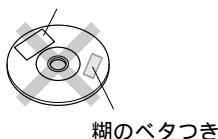
接点復活剤について

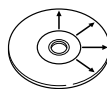
接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

糊のベタつき

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CDVとCD-G（CDグラフィックス）、CD-EXTRA（エクストラ）の音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

異常なディスクは使用しない

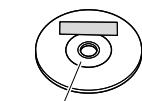
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

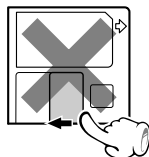
レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクを本機から取り出してください。

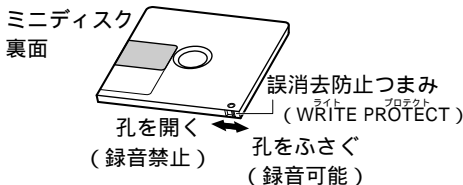
お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

POINT

- 録音禁止にすると、表示部に"PROTECTED"と表示します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

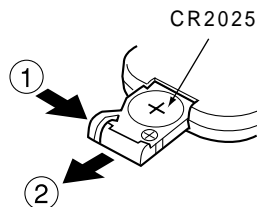
メモリーバックアップ

ACアダプターをコンセントから抜く、または乾電池で使用時に乾電池を抜くと消えるメモリーの内容
ー時計表示（75分で消える）

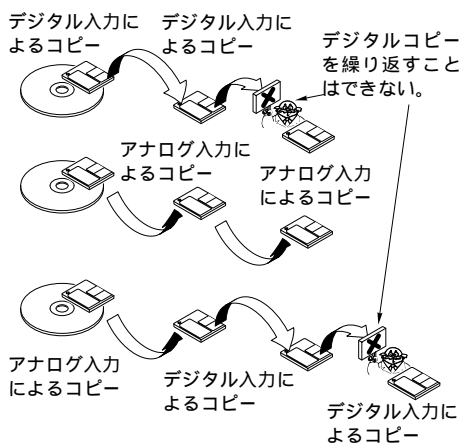
ACアダプターをコンセントから抜く、または乾電池で使用時に乾電池を抜くと最低1日で消えるメモリーの内容

- アンプ部
  ーインプットセレクター
  ーボリューム値
  ートーンコントロール値
  ーAUXインプット値
  ータイマーの設定内容
- チューナー部
  ー受信バンド
  ー周波数
  ープリセット放送局
  ーオート選局の設定
- MD部
  ーレックモード
  ーレックスピード
  ースタンプ（STAMP）機能

リモコンのボタン電池の交換

市販のボタン電池（CR2025）と交換します。

①部を右に押したまま②を引き出してください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話（03）5353-0336
FAX.（03）5353-0337

故障かな?と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源が入っているときに、接続コードを抜き差ししたり、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作することがあります。このようなときは、リセットしてみてください。

ACアダプターをコンセントから抜き、乾電池をはずして、SET（セット）/Demo（デモ）キーを押しながらACアダプターを差し込みます。マイコンが初期状態になり、記憶されていた内容は消去されます。

共通部

症状	対策
乾電池で動作しない。	→ DC IN（イン） コネクターからACアダプターのプラグを抜く（14ページ）。
音が出ない。	→ 音量を上げる（22ページ）。 → ヘッドホンが差し込まれているときは抜く（17ページ）。
ヘッドホンから音がでない。	→ ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する（17ページ）。
雑音が入る。	→ ACアダプターと本体を離す。 → 外部アンテナを道路から離して設置する（16ページ）。 → 電気器具の電源を切ってみる。 → テレビやパソコンから離す。

アンプ／スピーカー部

症状	対策
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	→ 現在時刻をもう一度合わせる（18ページ）。
タイマーが作動しない。	→ 現在時刻を合わせていない、または停電があった。現在時刻を合わせる（18ページ）。 → タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する（61～62ページ）。
放送局が受信できない。	→ 付属のAMループアンテナをAM ANTENNA（アンテナ）端子に接続する（14ページ）。 → FMロッドアンテナを引き伸ばして、受信状態の良い方向に向ける（14ページ）。 または、 FM屋外アンテナを接続する（16ページ）。 → 放送バンドを合わせる（19～21ページ）。 → 受信したい放送局の周波数に合わせる（21ページ）。
プリセットした後、P. CALL（プリセットコール）キーを押しても放送局を受信できない。	→ 受信できる周波数の放送局をプリセットする。（19～21ページ）。 → 長い間、ACアダプターまたは乾電池を抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする（19～21ページ）。

次ページに続く→

リモコン部

症状	対策
リモコンで操作できない。	→ 新しいボタン電池に交換する（74ページ）。 → 操作する位置が遠すぎる、または障害物がある。リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。 → 本機が乾電池で動作しているときは、リモコンでは電源をオンすることはできません。本体のキーで電源をオンする（16ページ）。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症状	対策
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	→ 消去された曲の合計時間が12秒未満の場合は、録音可能時間は増えません。 → 編集を繰り返したMDの場合、録音可能時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	→ 編集を繰り返したMDの場合、曲をつなげないことがあります。 → 録音モードが異なる曲、短い曲をつなげることはできません。
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。	→ 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	→ 編集を繰り返したMDの場合、音が途切れることがあります。
"MD READING（リーディング）"が表示される時間が長い。	→ 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間"MD READING（リーディング）"が表示されます。

MDレコーダー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない	→ 録音済みのMDを入れる。
録音ができない	→ 誤消去防止つまみを元に戻す（74ページ）。 → 入力切換を録音したいソースにする（41ページ）。
録音レベルが低い（AUX使用時）	→ AUX INPUT（インプット）レベルを調節する（36ページ）。
音がひずむ	→ 録音レベルの設定をしていない（AUX使用時）。AUX INPUT（インプット）レベルを調節する（36ページ）。
電源が切れているときにMDが取り出せない	→ MDホルダーにロックがかかっていることがあるので、電源を入れてからMDを取り出す。

CDプレーヤー部

症状	対策
再生キーを押しても音が出ない。	→ CDを正しく入れる（22ページ）。 → 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、ディスクを清掃する（72〜73ページ）。 → 「結露についてのご注意」を参照し、露を蒸発させる（72ページ）。
音が飛ぶ。	→ 「ディスク取扱上のご注意」を参照し、CDを清掃する（72〜73ページ）。 → CDに傷がついていないか確認する。 → 振動のない場所に設置する。

USBについて

→ 71ページをご覧ください。

メッセージ表示の一覧

メッセージ		意味
AM TIMER（タイマー） REC（レック） ERROR（エラー）	→	タイマー録音でAMラジオ放送をMDに録音しようとしたとき、タイマー実行後に誤ってAMループアンテナを外してしまったため、タイマー録音することができなかった。
BLANK（ブランク） DISC（ディスク）	→	何も録音されていないMDです。
CAN'T（キャント） COPY（コピー）	→	SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。オーディオ信号でないデジタル信号を録音しようとしている。録音できません。
CAN'T（キャント） EDIT（エディット）	→	長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
CAN'T（キャント） PLAY（プレイ）	→	何らかの原因でMDの信号を読み取れない。
DISC（ディスク） ERROR（エラー）	→	TOC* の内容が読み取れない。 音楽MD以外のMDを入れたとき。
DISC（ディスク） FULL（フル）	→	録音可能なエリアがない。
EDIT（エディット） ERROR（エラー）	→	MDの編集がうまくいかなかったとき。
FULL（フル）	→	最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 （47ページ）。
LOCKED（ロックド）	→	録音中にMDを取り出そうとした。
MD NO（ノー） DISC（ディスク）	→	MDが入っていない。
MD READING（リーディング）	→	TOC* 情報を読み込んでいる。
MD REC（レック） X ガイブアンテナヲ セツゾクシテクダサイ	→	AMループアンテナを接続せずに、AMラジオ放送をMDに録音しようとしている。
MD WRITING（ライティング）	→	編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
MD WRITING（ライティング）ヲ シテクダサイ	→	MD編集操作をしたあとに書き込みをしないでプレイモードまたはプログラムモードを設定しようとしたとき。
PGM MODE（モード）ヲ カイジョシテクダサイ	→	CDがプログラムモードになっていて、CD→MD倍速録音しようとしたとき。 MDがプログラムモードになっていて、MDの編集をしようとしたとき。
PLAY MODEヲ カイジョシテクダサイ	→	CDがプレイモードになっていて、O.T.E録音ができないとき。 MDがプレイモードになっていて、MDの編集をしようとしたとき。
PLAY（プレイ） ONLY（オンリー）	→	再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。

メッセージ		意味
POWER ERROR	→	本機内で電源電圧異常が発生しています。お買い上げの販売店か、または、当社サービス拠点にご相談ください。
PROTECTED	→	MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする（74ページ）。
TEMP ERROR	→	本機内の温度が異常に高くなった。お買い上げの販売店か、または、当社サービス拠点にご相談ください。
TEXT FULL	→	1Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
SYSTEM ERROR	→	何らかのトラブルを示します。電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直してください。
UNLOCK	→	光ケーブルが外れている、あるいは接続が不完全である。 サンプリング周波数が38kHz、44.1kHz、48kHz以外の外部ソース機器を接続している。
UTOC ERROR	→	UTOC* の内容が異常である。"ALL ERASE"を行う（58ページ）。それができないときは、MDを取り換えてください。
◯◯◯◯◯X	→	“ ◯◯◯◯◯ ”の操作はできません。

* すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス

知識編

保証書　(別途添付)
製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間
ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は
「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
÷ お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
÷ 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

÷ 製品名 ....
÷ 製造番号(Serial No.) ....
÷ お買い上げ年月日 ....
÷ 故障の箇所(できるだけ具体的に) ....
÷ ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください) ....
÷ お名前、電話番号、訪問ご希望日 ....

保証期間が過ぎている時は
保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
÷ 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

÷ 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

÷ 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　)　　　-

定格

アンプ部

実用最大出力 .... 2W＋2W（EIAJ 8Ω）

チューナー部

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz～90 MHz
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

MDレコーダー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ATRAC/ATRAC3
D/Aコンバーター .... 1 bit
ワウ・フラッター（EIAJ） .... 測定限界以下

CDプレーヤー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 bit
サンプリング周波数 .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20 Hz～20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

スピーカー部

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカーユニット .... 70 mm コーン型
＋25 mm ツィータ

電源部・その他

付属ACアダプター（100V AC, 50/60 Hz） .... DC 8V
（W09-1275-05）
乾電池（単3アルカリ乾電池 6本） .... DC 9V
最大外形寸法 .... 幅　470 mm
高さ　172 mm
奥行　51 mm
折りたたみ時寸法 .... 幅　236 mm
高さ　172 mm
奥行　74 mm
質量（重量） .... 1.7 kg（正味）

電池の持続時間（単3アルカリ乾電池6本使用時）
　音量：約30
　バックライトの設定：OFF（オフ）
　N.B.（ナチュラルバス）の設定：ON（オン）

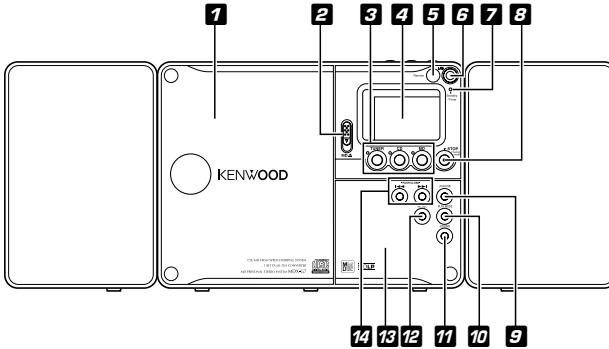
再生時	CD	約2.5時間
	MD	約3.5時間
録音時	CD → MD	約2時間
受信時	FM	約5.5時間

÷ 周囲温度25°Cにて連続使用したときの標準時間です。
÷ 周囲の温度、環境や使用条件により、電池の持続時間は異なります。

POINT

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

各部の名前

前面

1 CDドア(22)
2 MD⏏(MD取り出し)(24)
3 TUNER FM/AM(19)
CD ▶/❚❚(再生／一時停止)(22)
MD ▶/❚❚(再生／一時停止)(24)
4 表示部
5 リモコン受光部(15)
6 POWER I/⏻ (18)
7 Standby/Timerインジケーター(64)
8 STOP(停止)／Tuning Mode (23,27)
9 AUX/USB(29,36)
10 PLAY MODE(38)
11 SOUND(35)
12 MD REC(41)
13 MDホルダー(24)
14 ⏮, ⏭(スキップ)(21)

カッコ内の数字は参照ページです。

1 CD⏏(CD取り出し)(22)
2 PHONES(17)
3 AUX/OPT.IN(17)
4 MENU(18)
5 VOLUME/MULTI CONTROL(18,22)
6 SET/Demo(2,18)
7 USB(17)
8 S.W.(17)

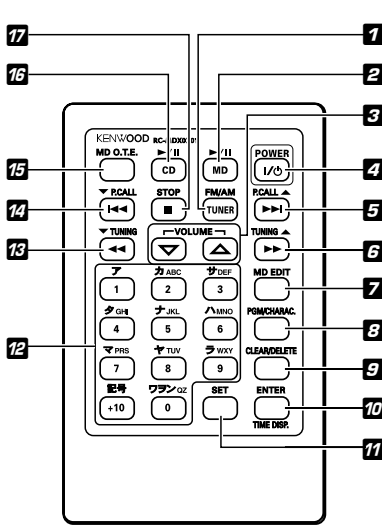
スタンバイ状態

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

Standby/Timerインジケーターの表示と本機の状態

表示	本機の状態
消灯	電源がオンのとき、または乾電池のみでスタンバイ状態になっている。
赤色の点灯	ACアダプターを壁のコンセントにつないでスタンバイ状態になっている。(乾電池を使用のスタンバイ状態時は点灯しません。)
緑色の点灯	タイマーが実行状態になっている。
緑色の点滅	時計を合わせないでタイマー設定しようとした、または停電などによりタイマーが正しく実行されなかった。
赤色の点滅	電気系統の故障です。点検、修理を販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

リモコン

本体部と同じ名称のキーは本体部と同じ働きをします。

1 TUNER FM/AM(19)
2 MD►/II(再生／一時停止)(24)
3 VOLUME(22)
※ 4 POWER I/⏻(18)
5 ►►I/P.CALL▲(スキップ)(21,23)
6 ►►/TUNING▲　(21,23)
7 MD EDIT(45)
8 PGM/CHARAC.(37)
9 CLEAR/DELETE(37)
10 ENTER/TIME.DISP(32,46)
11 SET(45)
12 文字入力(45)
13 ◄◄/TUNING∞　(21,23)
14 I◄◄/∞P.CALL(スキップ)(21,23)
15 MD O.T.E.(30)
16 CD►/II(再生／一時停止)(22)
17 ■STOP(停止)(23)

カッコ内の数字は参照ページです。

※乾電池で本機を使用しているときは、リモコンのPOWER I/⏻ キーを押しても電源を入れることができません。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター （東京） 電話 (03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

カスタマーサポートセンター （大阪） 電話 (06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにご相談ください。